

# とやまの古代集落遺跡出土品

中谷内遺跡・惣領浦之前遺跡

出来田南遺跡・井口本江遺跡

任海宮田ほか遺跡群

( 任海宮田遺跡 友杉遺跡 吉倉B遺跡 )  
( 栗山楮原遺跡 南中田D遺跡 )

仏田遺跡



2023年3月

富山県埋蔵文化財センター

## はじめに

当センターは、平成19年度から、本県の代表的な遺跡の出土品を紹介する冊子として、「富山県出土の重要考古資料」を14冊刊行してまいりました。今年度は第15冊として、当センター収蔵出土品の中でも古代の歴史や文化を語る上で重要な集落遺跡の出土品を紹介いたします。

本書により、多くの皆様に本県の貴重な文化財に触れていただき、関心を深めていただければ幸いです。

令和5年3月

富山県埋蔵文化財センター

## 例 言

- 1 本書は、「令和4年度文化庁地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」の国庫補助金を受けて実施した、当センターの『富山県出土の重要考古資料』作成事業で作成したものである。
- 2 本書は、下記の各発掘調査報告書を元に作成した。  
『惣領浦之前遺跡・惣領野際遺跡発掘調査報告』2010 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『中谷内遺跡発掘調査報告』2013 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『出来田南遺跡発掘調査報告』2015 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『井口本江遺跡発掘調査報告』2013 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『富山県富山市 任海宮田遺跡発掘調査報告書』1996 富山県埋蔵文化財センター  
『富山県富山市 任海宮田遺跡発掘調査報告書Ⅱ』1997 富山県埋蔵文化財センター  
『富山県富山市 任海宮田遺跡発掘調査報告書Ⅲ』1996 富山県埋蔵文化財センター  
『任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅰ』2006 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅱ』2007 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『任海宮田遺跡発掘調査報告Ⅲ』2008 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『友杉遺跡発掘調査報告』2010 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告 任海遺跡 吉倉A遺跡 吉倉B遺跡』1993 富山県埋蔵文化財センター  
『富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告 吉倉B遺跡』1994 富山県埋蔵文化財センター  
『吉倉B遺跡発掘調査報告』2005 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所  
『富山県富山市南中田D遺跡発掘調査報告書』1991 富山県埋蔵文化財センター  
『栗山楮原遺跡 南中田A遺跡 任海鎌倉遺跡 南中田C遺跡 富山県総合運動公園内遺跡群発掘調査概要』  
1990 富山県埋蔵文化財センター  
『仏田遺跡発掘調査報告』2013 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所
- 3 本書作成にあたり、発掘調査報告書に掲載された出土品のうち、良好な残存状態でかつ重要度の高い出土品238点を選択し、遺跡ごとに新たに通し番号を付した。
- 4 出土品の図の縮尺は、1/6を基本として各図版に掲載した。
- 5 本書に掲載した地図は、国土地理院の電子地形図（タイル）に遺跡位置を追記して掲載した。
- 6 本書に掲載した出土品は、富山県埋蔵文化財センターで保管・収蔵している。

## 目 次

|  |    |
|--|----|
| 1 富山県の古代集落遺跡出土品の概要   | 1  |
| 2 中谷内遺跡・惣領浦之前遺跡出土品   | 3  |
| 3 出来田南遺跡・井口本江遺跡出土品   | 6  |
| 4 任海宮田ほか遺跡群 <small>（任海宮田遺跡 友杉遺跡 吉倉B遺跡<br/>栗山楮原遺跡 南中田D遺跡）</small> 出土品 | 9  |
| 5 仏田遺跡出土品  | 16 |

表紙 出来田南遺跡木簡

裏表紙 出来田南遺跡円面硯

# 1 富山県の古代集落遺跡出土品の概要

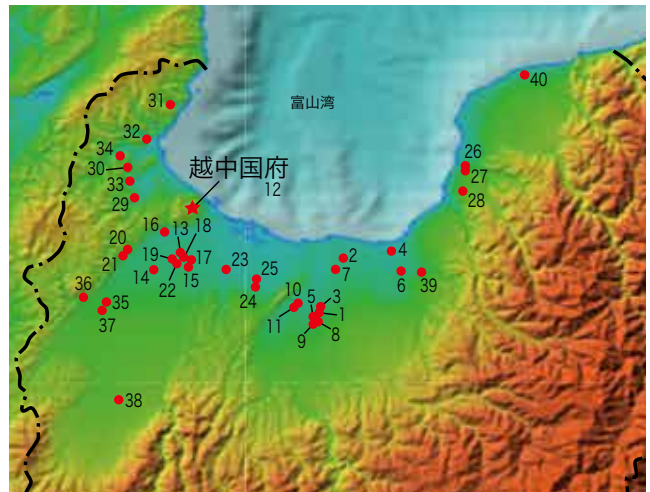
本書で対象とする古代とは、律令国家段階としての7世紀頃から9世紀までとし、必要な場合は10世紀も含むものとする。律令国家とは成文化された法律を基盤とし、天皇を頂点とした官僚制度と国家的土地所有を基軸とする中央集権国家であった。

この段階は中央の官僚制度や地方の行政制度が整備され、在地の人々の諸関係が複雑化する時代である。このような社会の様相を、考古資料から考察することで、具体的な姿として捉えることが可能になるものとする。

富山県での古代の集落は7世紀末から8世紀初めに飛躍的に増加する傾向にあり、特に低地と丘陵での増加が著しい。このことは国府・郡家をはじめとする地方官衙が成立し、国郡制を基盤とする律令国家体制が整ったことによるものである。8世紀中頃以降は扇状地に集落が増加する。これは東大寺をはじめとした初期荘園の成立との関係性が高い。さらに、9世紀前半には扇状地に加え段丘や低地にも集落数は増加する。初期荘園の活動も最盛期であるとみられ、官衙政庁風の施設も成立している。そして、10世紀に存続しない集落の多くは、9世後半または9世紀末には衰退、廃絶している。

集落の様相を復元するにあたり、建物規模や倉庫の所有などの建物群の構造と配置形態に、出土した金属器・施釉陶器・漆器など木製品・須恵器・土師器などの種類とその組成を組み合わせることで、集落または居住する人々の性格や格式を表すものとする。これは、食器に使用者の官僚的身分秩序が表れるとされることによるが、衣服においても同様であることから、石帯の出土も有効な判断材料となりうると考える。

現在、富山県内に古代の集落遺跡は約600遺跡が確認されている。このうち発掘調査が行われ、遺構や遺物にまとまりのあった40遺跡を第1表にまとめた。本書では、古代の遺跡出土品の中から文字関連資料に焦点を絞り、集落様相を具体的に表すことを目的とし、これらの中から当センターが所蔵し、かつ残存状態が良好で重要度の高い10遺跡の出土品を選定した。



第1図 富山県の主な古代集落遺跡位置図

第1表 富山県の主な古代集落遺跡出土品一覧(1)

| No | 所在地 | 遺跡名        | 主な遺物  | 遺物の特徴   | 主な時代         | 遺跡の性格         | 瓦 | 白磁 | 三彩 | 緑釉 | 灰釉 | 墨書 | 木簡 | 石帯 | 帯金具 |
|----|-----|------------|---|---|--------------|---------------|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|
|    |     |            |   |   |              |               |   |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 1  |     | 任海宮田遺跡     | 土師器、須恵器、赤彩土師器、墨書土師器、内黒土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、奈良三彩(1)、暗文土器、円面硯、瓦塔、製塩土器、フイゴ羽口、土鍾、銅製品、鉄製品(釘、刀子、鉄鑊、鉄紡錘車、鎌、鉄斧)、石製品(石帯、砥石) | [藪田]・[家]・[城長]・[観音寺]・[寺]・[家成]・[平]・[成]・[武]・[成]・[繩足]・[富]・[稲村]などの墨書<br>瑪瑙製石帯の帯飾りは大きさが4.1cm四方と北陸では最大級<br>仏教関連遺物(奈良三彩火舎・鉄錐型土師器など) | 8世紀後半～10世紀前半 | 農地開発の拠点的な集落   |   |    | ◆  | ●  | ●  | ★  | ●  | ●  |     |
| 2  |     | 米田大覚遺跡     | 土師器、須恵器、墨書土器、風字硯、緑釉陶器、灰釉陶器、土製品、木製品(刀形、斎串、棒状、曲物底板、下駄)、石製品  | [家]・[紫]・[井]・[真]・[茨]・[室]・[仲]・[人]・[室]・[宴]・呪句、吉祥句、則天文字等の墨書<br>祭祀遺物(斎串など)   | 8世紀末～11世紀初頭  | 新川郡家          |   |    |    | ●  | ●  | ★  | ●  | ●  |     |
| 3  | 富山市 | 友杉遺跡       | 土師器、須恵器、墨書土器、奈良三彩火舎、緑釉陶器、灰釉陶器、製塩土器、木製品、石製品、金属製品(銅鏡、鎌、刀子、紡錘車、釘、鉄斧)   | [家]・[藪田]・[馬甘]・[城長]などの墨書<br>[解中]・[九]の線刻  | 8世紀後半～10世紀前半 | 拠点的な集落        |   | ◆  | ●  | ●  | ◆  | ●  |    |    |     |
| 4  |     | 水橋荒町・辻ヶ堂遺跡 | 土師器、須恵器、墨書須恵器、円面硯、漆付着土器、土鍾、羽口、斎串、石帯、紡錘車、鉄斧  | 斎串を中心とした井戸祭祀  | 7世紀末～9世紀     | 古代北陸道「水橋駅」を比定 |   |    |    | ●  | ●  | ●  | ●  | ●  |     |
| 5  |     | 吉倉B遺跡      | 土師器、須恵器、墨書土器、赤彩土師器、内黒土師器、緑釉陶器、円面硯、須恵器紡錘車、製塩土器、土鍾、羽口、金属製品(釘、刀子、鎌、鉄斧、鉄斧、飾金具、鉄紡錘車、鉄鎌、鉄刺突具)、印石、砥石               | [城長]・[紫]・[真]など墨書  | 8世紀末～9世紀     | 開墾集落          |   |    |    | ●  | ●  | ★  | ●  |    |     |
| 6  |     | 水橋金広・中馬場遺跡 | 土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、木製品   | 古代では官道に匹敵する規模の道路が検出された。   | 8世紀後半～9世紀    | 一般的な集落        |   |    |    |    | ●  | ●  | ●  |    |     |
| 7  |     | 豊田大塚・中吉原遺跡 | 須恵器、土師器、内黒土師器、墨書土師器、人面墨書土器、木製品(人形、斎串)   | 律令祭祀具(人形のうち1点には「神服小年賀」の墨書)  | 9世紀後半        | 新川郡家の祭祀場か     |   |    |    |    |    | ●  |    |    |     |
| 8  |     | 栗山橋原遺跡     | 土師器、須恵器、内黒土師器、墨書土師器、陶硯、製塩土器、土鍾、鉄釘、鉄斧  | [林]・[稲村]などの墨書   | 10世紀前半       | 開墾集落          |   |    |    |    |    | ●  | ●  |    |     |

★特に重要 ◆重要

第1表 富山県の主な古代集落遺跡出土品一覧(2)

★特に重要 ◆重要

| No. | 所在地  | 遺跡名      | 主な遺物  | 遺物の特徴  | 主な時代                          | 遺跡の性格             | 瓦 | 白磁 | 三彩 | 緑釉 | 灰釉 | 墨書 | 硯 | 木簡 | 石帯 | 帯金具 |  |
|-----|------|----------|---|--|-------------------------------|-------------------|---|----|----|----|----|----|---|----|----|-----|--|
| 9   | 富山県  | 南中田D遺跡   | 土師器、須恵器、墨書土器、緑釉陶器、土鍾、金属製品(刀子、鎌、紡錘車、釘、生反、銅銭貨、飾金具、鉄滓)、石製紡錘車   | 「真□」「吉」「川」「□」などの墨書   | 8世紀末～10世紀初頭                   | 開墾集落              |   |    |    | ●  | ◆  |    |   |    |    |     |  |
| 10  | 山形市  | 砂子田I遺跡   | 土師器、須恵器、墨書土器、赤彩土師器、円面硯、土鍾、鍔型、鉄滓、木製品   | 「秦力」「間」「嵐」「田屋」など墨書   | 8世紀～10世紀後半                    | 一般的な集落            |   |    |    | ●  | ◆  |    |   |    |    |     |  |
| 11  |      | 中名I・V遺跡  | 土師器、須恵器、緑釉陶器、土鍾   | 「舟生」「舟」などの墨書   | 8世紀～9世紀                       | 一般的な集落            |   |    |    | ●  | ◆  |    |   |    |    |     |  |
| 12  |      | 越中国府     | 瓦、土師器、須恵器、墨書土器、黒色土器、円面硯、白磁、緑釉陶器、灰釉陶器、金属製品(刀子、鎌、紡錘車、釘、生反、銭、飾金具)、鉄滓、石製紡錘車、土鍾                        | 文字瓦「寺」   | 8世紀～10世紀前半                    | 御亭角鹿寺、国庁          | ★ | ●  |    | ●  | ●  | ●  | ● |    | ●  | ●   |  |
| 13  |      | 東木津遺跡    | 土師器、須恵器、墨書土器、黒色土器、硯、緑釉陶器、灰釉陶器、漆紙文書、木製品(木簡、斎串、人形、舟形、馬形、鳥形、刀子形、琴柱形、ささら状、檜扇、漆刷毛、曲物漆容器)、瓦塔、銅銭(含む)、モモ核 | 「遠万呂」「寺万呂」「川相」「助郡」など人名・地名の墨書<br>漆紙文書<br>漆刷毛<br>同開珎<br>瓦塔、「梅過」墨書、難波津木簡、「種子礼」、「氣多大神宮寺涅槃浄土 米入使」の木簡等 | 8世紀後半～9世紀前半                   | 官衛的               |   |    |    | ●  | ●  | ◆  |   | ★  |    | ●   |  |
| 14  |      | 中保B遺跡    | 土師器、須恵器、墨書土器、灰釉、転用硯、木製品(木簡、斎串、人形、馬形、舟形、檜扇)、鉄鍔   | 「家調」「津三」「大家」「秋刀自女」などの墨書<br>祭祀遺物  | 7世紀後半、8世紀後半～10世紀              | 官衛的<br>砺波郡面の出先機関か |   |    |    | ●  | ●  | ●  | ● | ●  | ●  | ●   |  |
| 15  |      | 出来田南遺跡   | 土師器、須恵器、黒色土器、墨書土器、円面硯、土製品、木製品(木簡)、石製品   | 「荷礼木簡」「丸部飯刀自女上米一半」「酒度」「上川邊」「大家」「采女」などの墨書<br>律令祭祀具(人面墨書土器(ア)や斎串、馬形など)                             | 8世紀後半～9世紀前半                   | 中核的な集落            |   |    |    |    | ●  | ★  |   | ★  |    |     |  |
| 16  | 高岡市  | 須田藤の木遺跡  | 土師器、須恵器、墨書土器、灰釉陶器、木製品(木簡、斎串、剝形、弓形、ささら)  | 木簡「V 布師郷戸主文マ□□□□」「V 十月十日」ほか<br>木製祭祀具   | 8世紀後半～10世紀前半                  | 荘家または郡衙関連遺跡か      |   |    |    |    | ●  | ●  | ● | ◆  |    |     |  |
| 17  |      | 井口本江遺跡   | 土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器、墨書土器、円面硯、緑釉陶器、灰釉陶器、土製品、石製品  | 「秋万呂」などの墨書   | 8世紀後半～10世紀前半                  | 中核的な集落            |   |    |    | ●  | ●  | ◆  |   |    |    |     |  |
| 18  |      | 下佐野遺跡    | 土師器、須恵器、人面墨書土器、墨画土器、墨書土器、黒色土器、赤彩土器、土鍾、砥石、木製品(木簡、人形、剝物、曲物、櫛、算木)                                    | 木製祭祀具(人形等)<br>墨画土器土師器2面に飾り馬を描く<br>「碓部」「大」「曹司」「西大家」「西家」などの墨書<br>「出子」のへら書                          | 8世紀後半～10世紀前半                  | 官衛的               |   |    |    |    |    | ★  |   | ◆  |    |     |  |
| 19  |      | 石名瀬A遺跡   | 土師器、須恵器、墨書土器、人面墨書土器、灰釉陶器、木製品(斎串、人形、ささら)   | 「西」「西家」「西大家」「曹司」「主」などの墨書<br>人面墨書土器と木製祭祀具   | 8世紀後半～9世紀                     | 祭祀場か              |   |    |    |    | ●  | ●  |   |    |    |     |  |
| 20  |      | 岩坪岡田島遺跡  | 土師器、須恵器、内黒土師器、赤彩土師器、緑釉陶器  | 猿面硯  | 7世紀後半～8世紀初頭、8世紀～11世紀前半        | 一般的な集落            |   |    |    |    | ●  | ●  | ◆ |    |    |     |  |
| 21  |      | 間尽遺跡     |   | 漆紙文書<br>漆紙の付着した痕跡のある土器が2点出土。   | 9世紀                           | 荘園開発にかかわる集落       |   |    |    |    |    |    | ● | ●  |    |     |  |
| 22  |      | 諏訪遺跡     | 土師器、須恵器、製塩土器、銅銭   | 和銅開珎   | 8世紀～9世紀                       | 一般的な集落            |   |    |    |    |    |    |   |    |    |     |  |
| 23  | 射水市  | 赤田I遺跡    | 土師器、須恵器、墨書土器、緑釉陶器、木製品(斎串、人形、馬形、鳥形、舟形、刀形、陽物形、檜扇、火鑽白、箸、柄杓、紡錘具、宝珠形、独楽、挽物盤、棒状)、獣骨、被熱した礫               | 草仮名墨書土器<br>祭祀遺物  | 8世紀後半～10世紀初頭                  | 祭祀場               |   |    |    | ●  | ★  |    |   |    |    |     |  |
| 24  |      | 黒河尺目遺跡   | 土師器、須恵器、墨書土器、円面硯、土鍾、フイゴ羽口、鉄滓、石製品(石帯、砥石)、木製品(曲物、篋、櫛、加工材)   |  | 8世紀後半～11世紀初頭                  | 官衛的?              |   |    |    |    |    | ●  | ● |    | ●  |     |  |
| 25  |      | 黒河・中老田遺跡 | 土師器、須恵器、墨書土器、へら書須恵器、暗文土器、灰釉陶器、鉄滓、叩板   | 「黒川」「弟主」などの墨書<br>叩き板   | 8世紀～9世紀                       | 一般的な集落            |   |    |    |    | ●  | ◆  |   |    |    |     |  |
| 26  | 魚津市  | 仏田遺跡     | 土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、土製品、金属製品  | 「三」と墨書<br>石帯(丸柄)・石製椎状錘   | 8世紀末～10世紀初頭                   | 拠点的な集落            |   |    |    | ●  | ●  | ◆  | ● |    | ●  |     |  |
| 27  |      | 江口遺跡     | 土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器、灰釉陶器、製塩土器、フイゴ羽口、砥石、鉄釘、鉄滓  | 「乙□」「縄か」などの墨書  | 8世紀後半～10世紀初頭                  | 拠点的な集落            |   |    |    | ●  | ●  | ●  |   |    |    |     |  |
| 28  |      | 佐伯遺跡     | 土師器、須恵器、墨書土器、陶硯、土鍾、陶製紡錘車  | 「廣川」の墨書  | 8世紀～9世紀前半                     | 一般的な集落            |   |    |    |    |    |    | ◆ | ●  |    |     |  |
| 29  |      | 惣領浦之前遺跡  | 土師器、須恵器、墨書土器、黒色土器、緑釉陶器、灰釉陶器、漆塗り土器、漆書、製塩土器、土鍾、漆器椀、曲物底板、銅銭  | 「小郡」「中家」「歌人」など墨書<br>漆書・漆塗り土器・漆パレット<br>瓦塔<br>同開珎  | 8世紀後半～10世紀前半                  | 自然流路              |   |    |    | ●  | ●  | ◆  | ● |    |    |     |  |
| 30  |      | 中谷内遺跡    | 土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器、灰釉陶器、製塩土器   | 「国博二御鏡」「歌人」「歌」「金鐘」などの墨書  | 8世紀後半～9世紀                     | 自然流路              |   |    |    | ●  | ●  | ◆  | ● |    |    |     |  |
| 31  | 水見市  | 宇波西遺跡    | 土師器、須恵器、黒色土器、緑釉陶器、灰釉陶器、製塩土器、土製品、木製品   |  | 7世紀後半～8世紀前半                   | 一般的な集落            |   |    |    | ●  | ●  | ●  | ● |    |    |     |  |
| 32  |      | 稲積天坂北遺跡  | 土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、製塩土器、土製品、木製品、石製品  | 「魚」と墨書<br>把手付中空円面硯   | 8世紀～9世紀                       | 一般的な集落            |   |    |    |    | ●  | ●  | ● |    |    |     |  |
| 33  |      | 上久津呂中屋遺跡 | 土師器、須恵器、黒色土器、製塩土器   | 「大家」「家」「水通」「東人」「稲主」「百加」「津史」などの墨書<br>仏器写しの器種が多い   | 7世紀末～9世紀                      | 中核的な集落            |   |    |    |    |    | ●  | ● |    |    |     |  |
| 34  |      | 中村大橋遺跡   | 土師器、須恵器   |  | 8世紀後半～9世紀後半                   | 一般的な集落            |   |    |    |    |    |    |   | ●  |    |     |  |
| 35  | 小矢部市 | 石名田舟遺跡   | 土師器、須恵器、墨書須恵器、内黒土師器、漆書須恵器、円面硯、須恵器転用硯、暗文土器、奈良三彩、瓦塔、製塩土器、フイゴ羽口、土鍾、木製品(漆器椀、曲物、下駄)                    | 「善文」「河王カ」「厨」則天文字などの墨書<br>漆書き土器<br>飛鳥様式卍形高欄・阿弥陀三尊像を持つ瓦塔・宗教関連仏具                                    | 7世紀後半～10世紀前半                  | 一般的な農民層クラスの集落     |   |    | ◆  | ●  | ●  | ◆  | ● |    |    |     |  |
| 36  |      | 桜町遺跡     | 須恵器、土師器、墨書土器、黒色土器、赤彩土器、円面硯、土馬、木製品(木簡、斎串)、銭、帯金具  | 木簡「一石一石」「一」<br>「長岡」「長岡神祝」「大祝」「祿宜」「大社祝」「厨」などの墨書<br>祭祀遺物(土馬、斎串など)                                  | 8世紀後半～10世紀前半                  | 官衛                |   |    |    |    |    | ★  |   | ◆  |    | ●   |  |
| 37  |      | 五社遺跡     | 土師器、須恵器、へら書須恵器、内黒土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、製塩土器、土鍾、砥石、木製品(漆器椀、曲物、コロパン)  | 木製農具「コロパン」   | 7世紀前半、8世紀後半～10世紀初頭、10世紀末～11世紀 | 一般的な集落            |   |    |    | ●  | ●  | ●  |   |    |    |     |  |
| 38  | 南砺市  | 高瀬遺跡     | 土師器、須恵器、墨書土器、黒色土器、瓦塔、木簡、銭   | 木簡「昔右支□易曹□難・・・」「家成」「衣」「南□□」などの墨書<br>同開珎<br>仏教関連遺物(瓦塔・鉄鉢・浄瓶)                                      | 8世紀後半～10世紀初頭                  | 荘家                |   |    |    |    |    | ●  | ● | ◆  |    |     |  |
| 39  | 上市町  | 東江上遺跡    | 土師器、須恵器、円面硯、製塩土器、砥石   |  | 7世紀末～8世紀初頭                    | 一般的な集落            |   |    |    |    |    |    |   | ●  |    |     |  |
| 40  | 入善町  | じょうべのま遺跡 | 土師器、須恵器、黒色土器、内黒土師器、墨書土器、風字硯、緑釉陶器、灰釉陶器、土鍾、製塩土器、円筒形土製品、木製品(木簡、人形、馬形、曲物、箸、椀、盆、笥形木器、刷毛柄、櫛)            | 木簡「文部吉権丸上白米五斗」<br>「寺」「庄」「西家」などの墨書  | 8世紀後半～10世紀                    | 荘家                |   |    |    | ●  | ●  | ◆  | ● | ★  |    |     |  |

## 2 中谷内遺跡・惣領浦之前遺跡出土品(富山県氷見市中谷内・惣領)

－8世紀後半～10世紀前半：文字関連資料48点(墨書土器42点、転用硯6点)－

### (1) 遺跡と出土品の概要

中谷内遺跡は仏生寺川とその支流によって開析された十三谷と通称される谷底平野の奥に立地し、北側と南側は宝達山から派生した小丘陵に接する。丘陵上には古墳時代初頭から終末期に至る各時期の古墳が分布する。標高は遺構の集中する平地部で約3.3～5.8m、丘陵部では最高約33mを測る。中谷内遺跡から南へ約3.2kmに位置する惣領浦之前遺跡は仏生寺川の支流である鞍骨川北岸の平野に位置し、北側を小丘陵に接する。標高は約7.5～8.5mを測る。仏生寺川下流一帯はかつて大伴家持が歌に詠み『万葉集』に残された布勢水海といわれる潟湖が広がっていた。

発掘調査は能越自動車道建設に伴い、平成15(2003)年～平成17(2005)年に行った。調査の結果、中谷内遺跡は掘立柱建物2棟、自然流路などを、惣領浦之前遺跡は掘立柱建物7棟、自然流路などを検出し、ともに自然流路から8世紀後半～9世紀代の土師器碗を中心に多量の土器が出土した。墨書の内容や漆書土器や漆パレットの出土など、その内容に共通点が多いことから一括して扱う。

選定した出土品は自然流路出土の墨書土器、漆書土器、転用硯の文字関連資料である。出土品全体の組成比率は土師器食膳具の比率が高いが、墨書はそれと相反し、須恵器が大半を占める。古代の土器組成において土師器食膳具の比率が高いことは公的様相が強いとされ、墨書には郡衙等の施設名や人名、時代は下るが越中国守大伴家持と布勢水海とを想起させるものなどがある。規格性をもつ建物配置がみられる中谷内遺跡や、自然流路に近接する建物が水運管理に係る施設と想定される惣領浦之前遺跡において、その遺物量や内容に見合う建物が調査区外にあったと想定すれば、漆生産管理や水運流通をも基盤に置く公的様相が強い、郷長クラス以上の階層が経営に参画した集落と想定され、墨書の内容はこれを示す重要な資料である。各遺跡で確認された墨書の内容は第2表にまとめた。

### (2) 出土品各説

①墨書土器 1～31は中谷内遺跡、32～48は惣領浦之前遺跡出土。1・2は内面に「小金」。4は「小カ米カ」。5～8は「金縄」。9・10は「金杵」。3・11～13は「金」と「□金」や「金□」。「金」がつく文字が多く、職名に関連するものか。14は側面に横位で「国博ニカ御鏡」。15～18・37・38の「歌人」や「歌」は、曲水の宴を想起させる特徴的の文字資料。19は「田十」。20・21は「伊十」。20は墨書が重複するが不明瞭。22は「山」。23は「富」。24の「佐カ万呂」、25の「麻呂」は人名。32・36の「中家」は管理事務所のような中心的施設。33は「□□□



第2図 中谷内遺跡・惣領浦之前遺跡位置図

第2表 墨書一覧

| 中谷内      |   | 惣領浦之前         |   |
|----------|---|---------------|---|
| 文字       | 数 | 文字            | 数 |
| 「国博ニカ御鏡」 | 1 | 「小郡」          | 1 |
| 「小金」     | 2 | 「中家」          | 1 |
| 「小カ米カ」   | 1 | 「□□[中家カ]」     | 1 |
| 「金縄」     | 5 | 「□□[本家カ]」     | 1 |
| 「金杵」     | 2 | 「□本□[家カ]」     | 1 |
| 「金」      | 1 | 「□[本カ]」       | 1 |
| 「金□」     | 1 | 「□□□[公カ土カ]豫□」 | 1 |
| 「□金」     | 1 | 「歌人」          | 2 |
| 「金カ」     | 1 | 「衆」(歌カ)       | 1 |
| 「歌人」     | 2 | 「□万呂」         | 2 |
| 「歌」      | 3 | 「真六□[万カ]」     | 1 |
| 「田十」     | 1 | 「仁□[支カ文カ]女」   | 1 |
| 「伊十」     | 2 | 「田□[人カ]」      | 1 |
| 「□十カ」    | 1 | 「田□」          | 1 |
| 「□人」     | 1 | 「□[中カ]」       | 1 |
| 「月カ」     | 1 | 「□安」          | 1 |
| 「山」      | 1 | 「□[忍カ為カ]」     | 1 |
| 「富」      | 1 | 「□[丹カ田カ]」     | 1 |
| 「佐カ万呂」   | 1 | 「□□[左カ庄カ]」    | 1 |
| 「麻呂」     | 1 | 「主」           | 1 |
| 「三カ□」    | 1 |               |   |
| 「又」      | 1 |               |   |
| 「人カ」     | 1 |               |   |
| 「不カ」     | 1 |               |   |



[公カ土カ]豫口」。34は「口[忍カ為カ]」。35は「小郡」。『養老令』の「戸令」では「凡郡以二十里以下十六里以上為大郡、十二以上為上郡、八里以上為中郡、四里以上為下郡、二里以上為小郡」と、郡を5等級に分けており、最小規模にあたる。39は「仁口[支カ文カ]女」。40は「真六口[万カ]」。41は黑色土器で「衆」(歌カ)。

②硯 46～48は転用硯。識字層の存在を裏付ける。

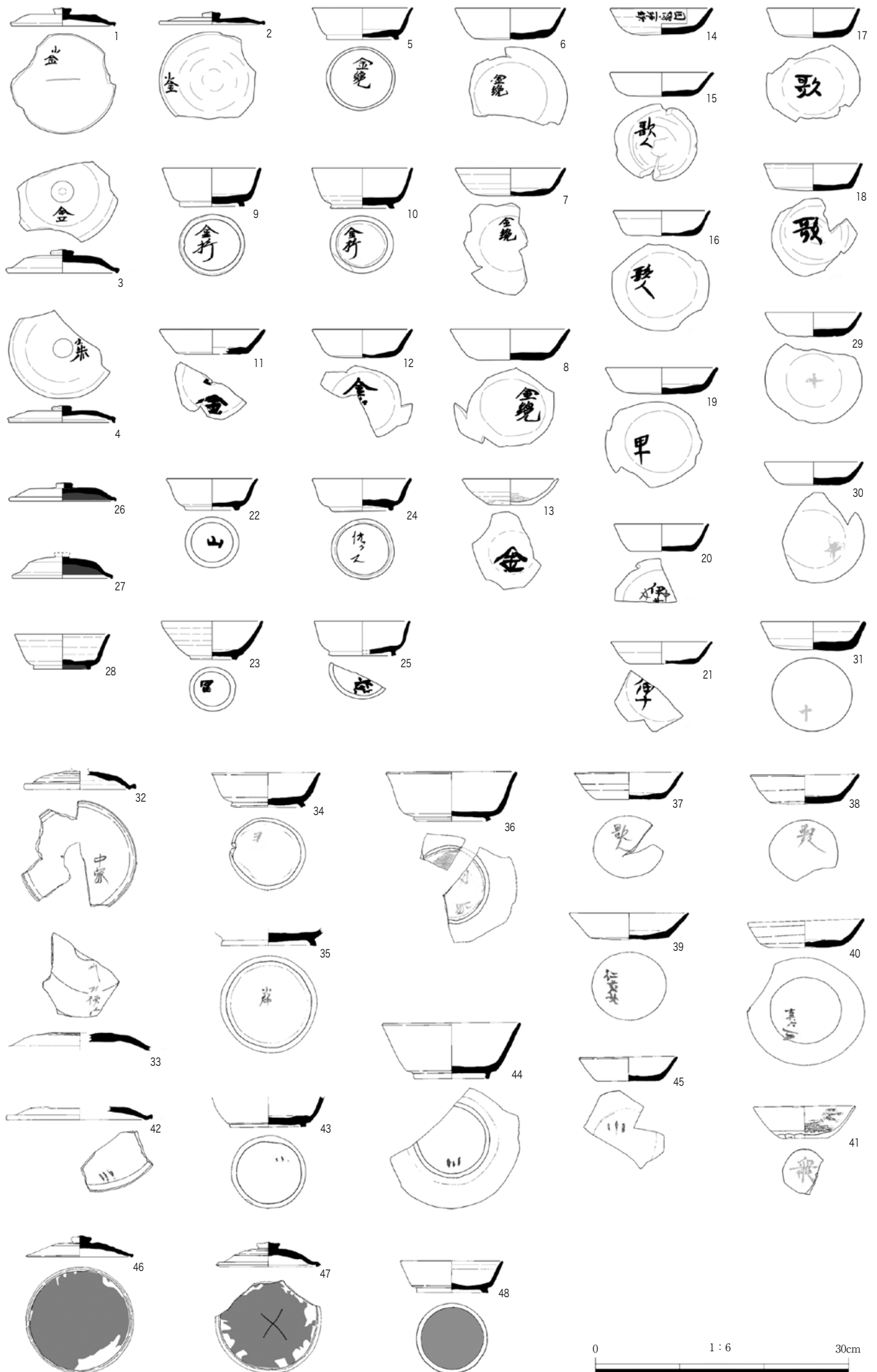
③漆書土器 29～31・42～45は漆書。29～31は「+」、42～45は「Ⅲ」で、記号。漆塗り土器や漆パレットの出土品もあわせ、漆工職人の存在とその管理体制が想定される。



写真1 中谷内遺跡出土品



写真2 惣領浦之前遺跡出土品



第3図 中谷内遺跡・惣領浦之前遺跡出土品(1/6) - 5 -

### 3 出来田南遺跡・井口本江遺跡出土品(富山県高岡市出来田・井口本江)

ー8世紀後半～9世紀前半：文字関連資料37点(木簡2点、墨書土器32点(転用硯2点)、硯3点)ー

#### (1) 遺跡と出土品の概要

遺跡は高岡市街地南東側の沖積低地に位置する。東の庄しょう川、西の千保川に挟まれた微高地上に立地し、北西を地久じく子川しがわが流れる。標高は9m前後である。出来田南遺跡は平成23(2011)年、平成25(2013)年の発掘調査で竪穴建物12棟、掘立柱建物58棟、柵、井戸、大溝などが検出された。大溝は幅10m前後で、南東から北西へ流れる。溝からは木簡や墨書土器などの文字関連資料や、人面墨書土器や斎申などの律令祭祀具が出土した。掘立柱建物と倉庫は計画的に配置されることから、公的・官衙的な様相をもつ8世紀後半～9世紀前半を中心とした集落とされる。

井口本江遺跡は出来田南遺跡の北に隣接し、平成20(2008)年の発掘調査で掘立柱建物2棟、柵、井戸、溝などが検出された。出土遺物の時期や内容に共通するものが多いことから、一括して扱う。

選定した出土品は出来田南遺跡大溝出土の荷札木簡や墨書土器、円面硯などを主とする文字関連資料である。荷札木簡にある「丸部」は古代氏族丸部の史料としては越中国初出である。木簡は米進納を記し、周囲の農地経営の一面を明らかにする。また、墨書の内容は施設や人名・地名などのほか、明確な意味が判らないものも含むが、本県の在地豪族層の関連施設を示すものとして重要な資料である。各遺跡で確認された墨書の内容は第3表にまとめた。

なお、大溝出土の木簡には荷札、習書、呪符とそれぞれ内容の異なる3点があり、呪符木簡は古代の重要な祭祀遺物として選定している。

#### (2) 出土品各説

①木簡(1・2) 1は荷札木簡。人名、内容、日付などが明瞭に書き記された完形品。短冊の下半を尖らせ、上部には紐を掛ける切り欠きがないタイプ。表面に「丸部飯刀自女上米一半」、裏面に「十月十六日」。内容は米進納を記すもので、進納者は「丸部飯刀自女」という女性である。「上米一半」の「一半」は、穀物の量における「一石の半分」と同意とみられるが、米の場合、「一石の半分」は「五斗」と記す例が一般的であり、「一半」と記した理由は不明である。裏面は納めた日付と考えられる。国郡郷、年紀などが記されていないが、これは入善町じょうべのま遺跡出土の荷札木簡「丈部吉椎丸上白米五斗」と形状・記述内容・貢進日付などにおいて共通する。さらに、租税である田租や出挙の場合は穎稻で収納されるのに対し、木簡に記された品目は米であることから、土地賃貸に伴う地子米などの付札であると推測される。また、進納主体が女性であることについては、長岡京木簡などにも類例があり、それほど珍しいことではないとみられ、この周辺においても女性主体の農地経営が行われていたことが明らかとなった。進納者の「丸部」は大和の豪族和珥氏の部民で、これまでに若狭国では遠敷郡、三方郡、越前国は足羽郡、坂井郡、加賀国は加賀郡での存在が確認されていたが、



第4図 出来田南遺跡・井口本江遺跡位置図

第3表 墨書一覧

| 出来田南  |    |       |   | 井口本江     |   |
|-------|----|-------|---|----------|---|
| 文字    | 数  | 文字    | 数 | 文字       | 数 |
| 「大家」  | 2  | 「五十」  | 5 | 「秋万呂」    | 1 |
| 「家」?  | 1  | 「五」?  | 1 | 「河□[芥カ]」 | 1 |
| 「采女」  | 1  | 「三万□」 | 3 |          |   |
| 「正月」  | 2  | 「六□」  | 1 |          |   |
| 「天田」  | 1  | 「金手」  | 4 |          |   |
| 「酒万呂」 | 1  | 「金」?  | 1 |          |   |
| 「酒麿」  | 1  |       |   |          |   |
| 「秋万呂」 | 2  | 「東内」? | 1 |          |   |
| 「安万呂」 | 2  | 「東□」  | 1 |          |   |
| 「□万呂」 | 1  | 「□内」? | 3 |          |   |
| 「□麿」  | 3  | 「専」   | 1 |          |   |
| 「上川邊」 | 1  | 「専」?  | 1 |          |   |
| 「川邊」  | 10 | 「岡」   | 1 |          |   |
| 「友田土」 | 1  | 「行」   | 2 |          |   |
| 「友」   | 16 | 「太」   | 1 |          |   |



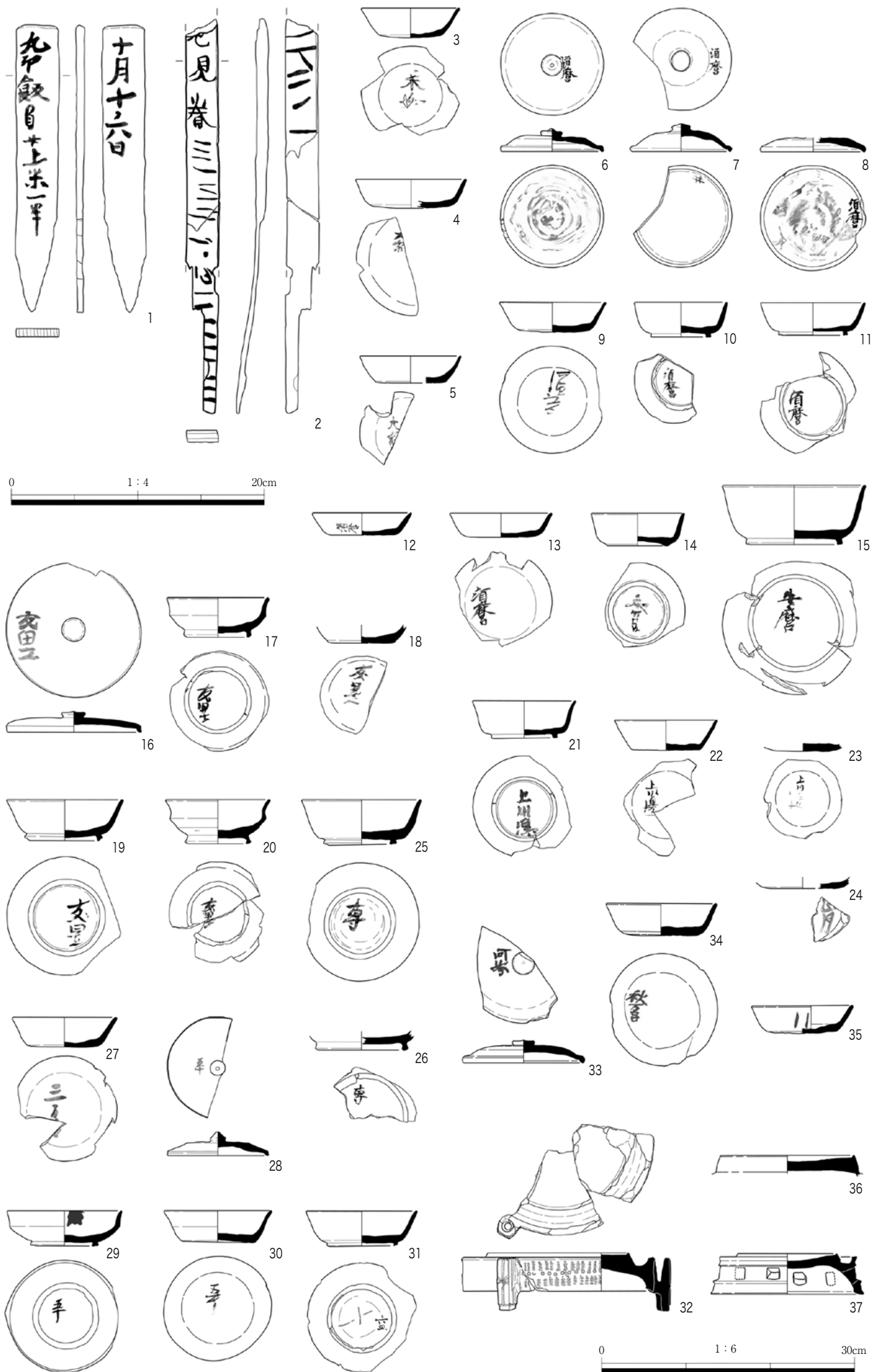
当資料により越中国でもその存在が明らかとなった。2は習書木簡。表面には「見」「眷」など、「ケン」と音読みする拙い文字が書き連ねられる。下半及び裏面には長さも太さも不揃いな横線が幾筋も引かれ、筆先を整えたと推測する。

②墨書土器 (3~31、33~35) 3は「采女」。奈良時代、各地の郡司層の姉妹や子女のうち、容姿端麗な者が下級女官として出仕する制度であり、中央集権の強固化をねらった律令制の施策のひとつである。射水郡からも采女を送り出していた可能性が高いと考えられる。こうした采女用の食器があるということは、采女がこの近辺に来ていたことをもうかがわせる。4・5は「大家」。管理事務所的な性格の施設名で、近隣に相当施設の存在を示唆する。6~13は「酒磨」・「酒万呂」。6・8は転用硯で、6は頂部外面に、8は内面に墨書がある。内面は硯として使い込まれており、滑らかである。9は「酒万呂」。14・15は「安万呂」・「安磨」。16~20は「友田土」。21~23は「上川邊」。24は「正月」。25・26は「専」。27は「三万口」。28~30は「五十」。31は「六口」。33は「河口[芥カ]」。34は「秋万呂」。両遺跡で出土している。35は「//」。二の横位か記号か。

③円面硯 (32・36・37) 32は筆立ての付くタイプ。脚は三脚と想定する。角柱状の脚部には線刻による装飾があり、接地部分は一回り細く削り出したうえ、内側に抉りが入る。また、脚部上面には細筆が差し込めるような途中までの穴が空けられている。硯本体の外面には列点文や円形文が一周するなど、きわめて装飾性が高く、復原径24cm、厚み6.8cmのかなり重厚感のある製品だが、硯面は滑らかでよく使用されている。36は硯面のみ。37は海と陸があり、脚部には透かしが穿たれている。いずれもよく使い込まれて滑らかな硯面である。



写真3 出来田南遺跡・井口本江遺跡出土品



第5図 出来田南遺跡・井口本江遺跡出土品(1・2 1/4, 3~37 1/6)

## 4 任海宮田ほか遺跡群出土品(富山県富山市任海・友杉・吉倉・栗山・南中田) (任海宮田遺跡・友杉遺跡・吉倉B遺跡・栗山楮原遺跡・南中田D遺跡)

－8世紀前半～10世紀：文字関連資料125点(墨書土器118点、硯4点、転用硯3点)・  
その他資料4点(石帯4点)－

### (1) 遺跡と出土品の概要

任海宮田ほか遺跡群は富山県の中央部、神通川右岸の扇状地上にあり、神通川とその支流である熊野川の合流地点より約4km南に位置する。任海宮田遺跡、友杉遺跡、吉倉B遺跡、栗山楮原遺跡、南中田D遺跡から構成され、南北約2.2km、東西約1kmに及ぶ遺跡群で、遺跡の存続期間及びその出土遺物の内容に関連性が高いものを一括している。

任海宮田遺跡は平成7(1995)年以降の大規模な発掘調査で竪穴建物214棟、掘立柱建物22棟、礎石建物1棟などが検出された。掘立柱建物には建物占有面積が100㎡を超える廂付きの大型掘立柱建物2棟があり、集落の中心的な役割をもつ施設と考えられている。出土遺物には、多量の緑釉陶器や灰釉陶器に加え、墨書土器や円面硯などの文字関連遺物、瓦塔や奈良三彩火舎などの仏教関連遺物がある。また、石帯の出土は、相応の位をもつ人物の存在を裏付け、公的な様相を色濃く示す。遺跡の存続期間は8世紀前半～10世紀までで、扇状地開発に携わった開墾集落であり、農

地経営の管理を行った中核的集落とされる。特筆すべき遺構に、土師器焼成遺構や地鎮などの祭祀行為の場と考える遺構があり、各々の出土遺物は古代の生産関連遺物及び祭祀遺物として選定している。

友杉遺跡は任海宮田遺跡の北に隣接する。平成15(2003)年～平成18(2006)年の特別公害防除土地改良事業に係る発掘調査で、竪穴建物132棟や掘立柱建物2棟などが検出された。出土遺物には緑釉陶器や灰釉陶器、奈良三彩火舎のほか、施設名や職名、人名が書かれた墨書土器があり、その内容は公的な様相を窺わせる。集落の存続期間は8世紀後半～10世紀初頭である。

吉倉B遺跡は任海宮田遺跡の南に隣接する。調査は平成4(1992)年・平成5(1993)年に富山県総合運動公園建設に先立ち、平成8(1996)年・平成9(1997)年には特別公害防除土地改良事業に伴い実施され、竪穴建物55棟や掘立柱建物14棟などが検出された。建物占有面積約97.5㎡の廂付きの大型掘立柱建物と倉庫や納屋が口の字に整然と配置される建物群は、中心的な役割をもつとみられる。柱穴から円面硯が出土するなど、墨書土器とあわせ識字層の存在が窺われる。集落の存続時期は8世紀中葉と9世紀中頃～後半である。

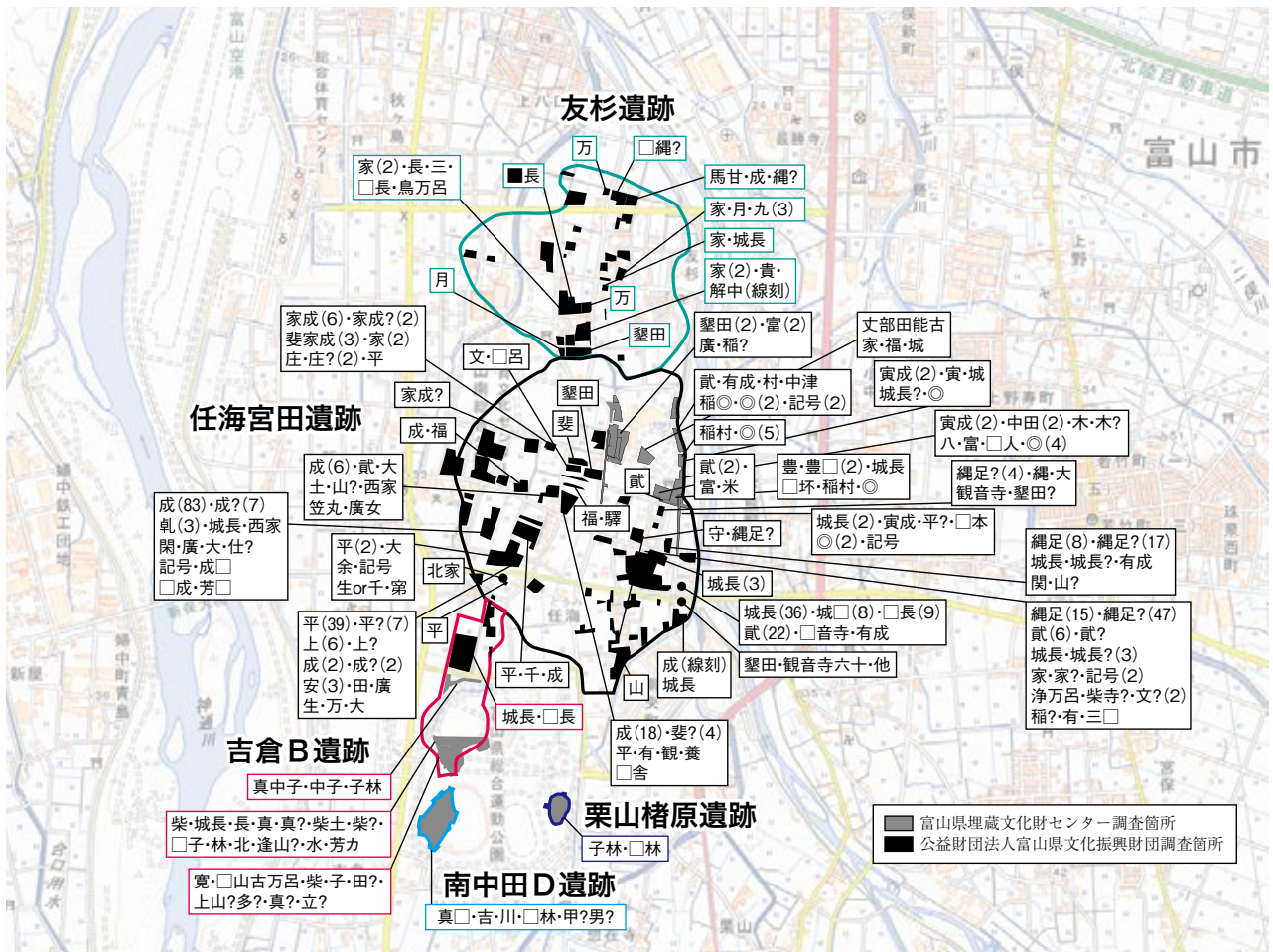
栗山楮原遺跡は任海宮田遺跡の北東に位置する。平成元(1989)年に富山県総合運動公園建設に係る本発掘調査で、掘立柱建物8棟などが検出された。集落の時期は10世紀前半と考えられ、建物は「屋」2棟に対し「庫」1棟で構成され、配置に計画性が窺われる。また、出土した墨書において、「子林」がその大半を占めることや、墨書土器の約40%が赤彩土師器であることは、遺跡の性格を考える重要な要素である。

南中田D遺跡は吉倉B遺跡の南に近接し、栗山楮原遺跡の西300m、任海宮田ほか遺跡群の南端に位置する。調査は平成2(1990)年に富山県総合運動公園建設に伴い発掘調査が実施され、竪穴建物61棟などが検出された。出土遺物は土師器や須恵器を主とし、県内初出となる生反などの鉄製の農具や工具類がある。遺跡の存続期間



第6図 任海宮田ほか遺跡群位置図





第7図 任海宮田ほか遺跡群出土墨書土器分布図

第4表 墨書一覧

| 任海宮田      |     |         |    | 友杉   |   | 吉倉B            |   | 栗山楮原 |   | 南中田D       |   |
|-----------|-----|---------|----|------|---|----------------|---|------|---|------------|---|
| 文字        | 数   | 文字      | 数  | 文字   | 数 | 文字             | 数 | 文字   | 数 | 文字         | 数 |
| 「庄」       | 3   | 「観音寺」   | 1  | 「文」  | 1 | 「寛」            | 1 | 「子林」 | 7 | 「真□」       | 2 |
| 「西家」      | 2   | 「観」     | 1  | 「文」? | 2 | 「□山古万呂」        | 1 | 「□林」 | 1 | 「吉」        | 1 |
| 「壱田」      | 1   | 「浄万呂」   | 1  | 「閑」  | 2 | 「柴」            | 5 |      |   | 「川」        | 2 |
| 「壱」?      | 1   | 「寅成」    | 5  | 「上」  | 5 | 「城長」           | 2 |      |   | 「□林」       | 1 |
| 「縄足」      | 96  | 「寅」     | 2  | 「安」  | 4 | 「長」            | 2 |      |   | 「□甲」? 「男」? | 1 |
| 「縄」       | 13  | 「有成」    | 1  | 「軋」  | 4 | 「□長」           | 1 |      |   |            |   |
| 「縄」?      | 23  | 「稲村」    | 2  | 「廣」  | 3 | 「真」            | 4 |      |   |            |   |
| 「縄□」      | 1   | 「稲」     | 1  | 「賜」  | 2 | 「真中子」          | 1 |      |   |            |   |
| 「足」       | 7   | 「稲」?    | 1  | 「田」  | 1 | 「中子」           | 2 |      |   |            |   |
| 「足」?      | 14  | 「文部田能古」 | 1  | 「人」  | 2 | 「柴土」           | 1 |      |   |            |   |
| 「□足」      | 8   | 「酒カ坏」   | 1  | 「富」  | 1 | 「柴」?           | 2 |      |   |            |   |
| 「成」 へラ書含む | 120 | 「中津」    | 1  | 「豊」  | 1 | 「子」            | 1 |      |   |            |   |
| 「貳」       | 21  | 「中田」    | 1  | 「豊□」 | 1 | 「□子」           | 1 |      |   |            |   |
| 「家成」      | 9   | 「□呂」    | 1  | 「勿」  | 1 | 「林」            | 1 |      |   |            |   |
| 「家成」+「斐」  | 3   | 「□妹」    | 1  | 「木」  | 1 | 「北」            | 3 |      |   |            |   |
| 「斐」       | 6   | 「□舎」    | 1  | 「木」? | 1 | 「逢山」?          | 1 |      |   |            |   |
| 「家□」      | 1   | 「□山」    | 1  | 「窮」  | 1 | 「水」            | 2 |      |   |            |   |
| 「家」       | 4   | 「□三□」   | 1  | 「生」  | 1 | 「芳」            | 2 |      |   |            |   |
| 「家」?      | 1   | 「芳□」    | 1  | 「万」  | 1 | 「田」? 「男」? 「甲」? | 1 |      |   |            |   |
| 「城長」      | 17  | 「□人」    | 1  | 「余」  | 1 | 「上山多?」         | 1 |      |   |            |   |
| 「城長」?     | 1   | 「平」     | 46 | 「仕」  | 1 | 「真」?           | 1 |      |   |            |   |
| 「城□」      | 2   | 「平」?    | 1  | 「工」? | 1 | 「立」?           | 1 |      |   |            |   |
| 「城」       | 2   | 「福」     | 3  | 「千」? | 1 | 「子林」           | 3 |      |   |            |   |
| 「□長」      | 2   | 「大」     | 6  | 「土」  | 1 |                |   |      |   |            |   |
| 「長」       | 1   | 「山」     | 3  | 「養」  | 1 |                |   |      |   |            |   |
| 「長」?      | 1   | 「有」     | 1  | 「驛」  | 1 |                |   |      |   |            |   |
| 「廣女」      | 1   | 「有」?    | 1  | 「米」  | 1 |                |   |      |   |            |   |
| 「笠丸」      | 1   | 「守」     | 1  | 「村」  | 1 |                |   |      |   |            |   |

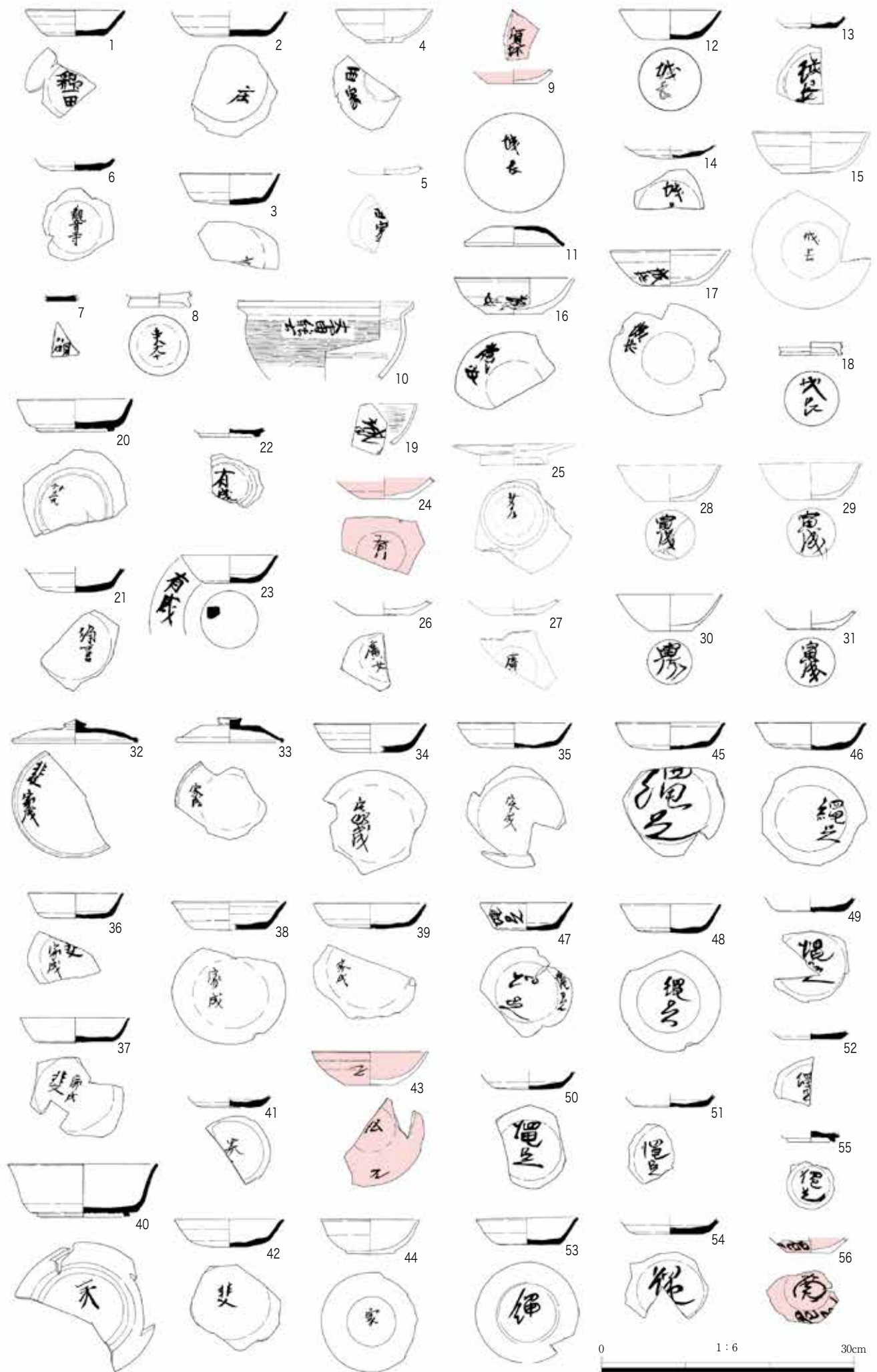




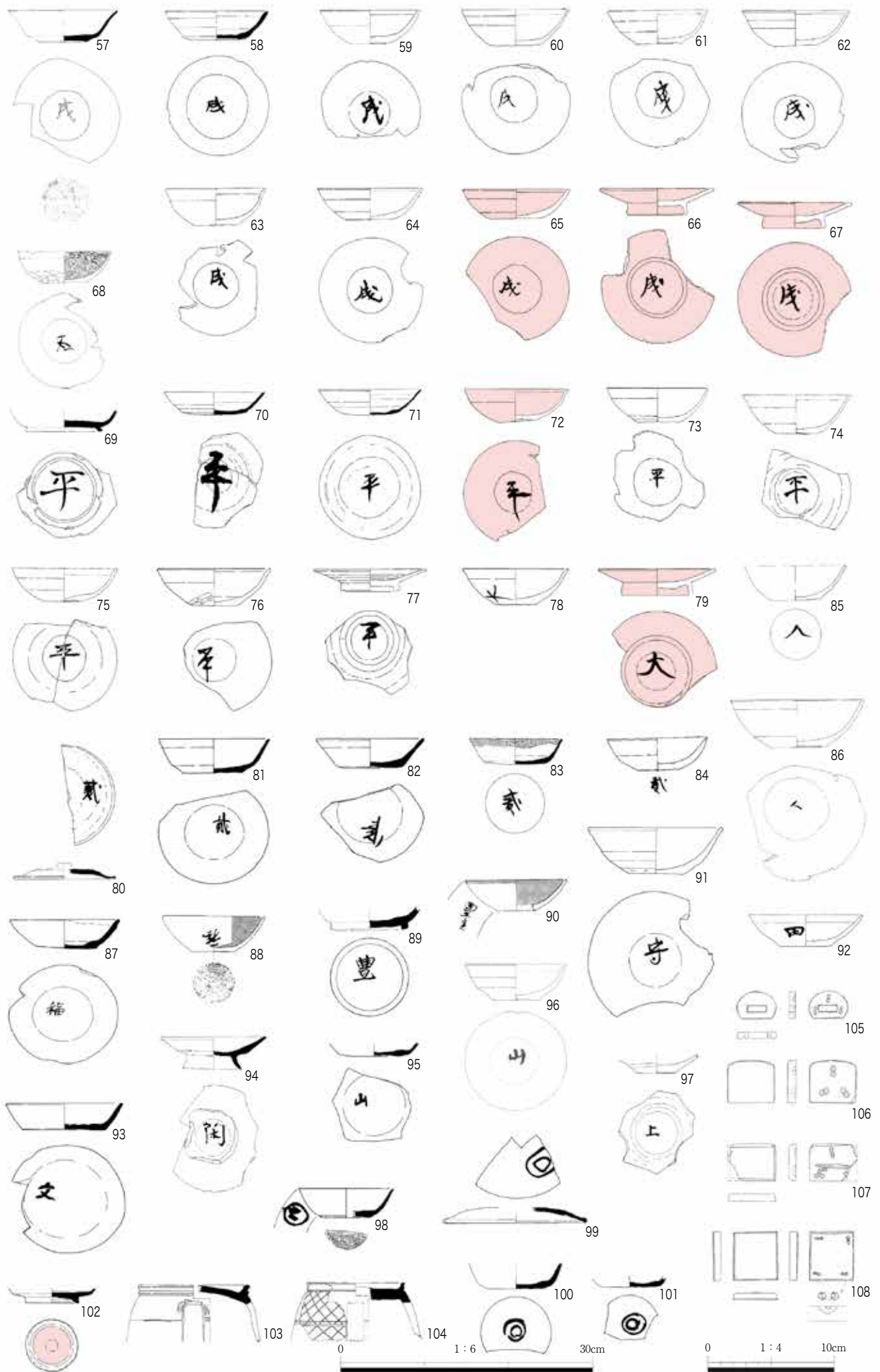
写真4 任海宮田遺跡出土品 1



写真5 任海宮田遺跡出土品 2



第8図 任海宮田遺跡出土品1 (1/6)



第9図 任海宮田遺跡出土品2 (105~108 1/4, 57~104 1/6)



は8世紀中頃～9世紀末であり、出土した墨書には吉倉B遺跡や栗山楮原遺跡と共通するものがある。

選定した出土品は任海宮田ほか遺跡群出土の墨書土器、円面硯の文字関連資料と石帯である。この遺跡群は、古代の扇状地開発に関わる集落の成立から発展の経過を窺うことができる、本県では数少ない事例として重要である。集落は8世紀前半頃に形成され始め、8世紀後半以降に最盛期を迎え、10世紀前半まで存続する。

墨書は須恵器を主体とし、農地開発を示す「墾田」・「庄」や、管理事務所のような施設を示す「西家」や、人名・地名などのほか、明確な意味が判らないものも含む。文字の分布では、任海宮田遺跡の西側に「成」・「平」・「家成」・「斐家成」・「斐」が、東側に「縄足」・「貳」・「城長」が多い傾向にあり、同一文字の出土量が多いことから、墨書の書き手が複数存在していることが確認された。なかでも「平」と「成」は、大型掘立柱建群に偏って出土すること、吉倉B遺跡では「真」や「柴」、栗山楮原遺跡では「子林」が多く出土するという様相が共通しており、開発を管理・指導した居住域が複数存在し、扇状地の開発を複数の勢力が群在して進めたものと考えられる。特に「成」と「九」には焼成前にヘラ書されたものがあり、有力者層と須恵器生産地との係りを推察できる。さらに、硯の法量が3種ある点、石帯が複数出土する点も、開発を推し進めた有力者層について考察する重要な資料である。各遺跡で確認された墨書の内容は第4表にまとめた。

## (2) 出土品各説

①墨書土器（1～104） 1～108は任海宮田遺跡出土。109～120は友杉遺跡出土。121～125は吉倉B遺跡出土。126・127は栗山楮原遺跡出土。128・129は南中田D遺跡出土。1・109は「墾田」。2・3は「庄」。4・5は「西家」。6・7は「観音寺」・「観」。8は「東本」。9は「酒坏」。10は「丈部田能古」、人名で、土師器鍋の口縁部外面に横位で書かれる。11～19は「城長」。職名もしくは人名。20は「笠丸」。21は「浄万呂」。22～24は「有成」・「有」。25は「芳□」。26・27は「廣女」・「廣」。28～31は「寅成」。32～44・115は「斐家成」・「家成」・「斐」・「家」。45～56は「縄足」・「縄」。いずれも人名。器の場合、墨書の位置は種類を問わず底部外面を基本とするが、43・47・56は側面にも墨書がある。57～68は「成」。57はヘラ書。70～77は「平」。78・79は「大」。80～84は「貳」。85・86は「人」。87・88は「福」。88は体部外面に倒立文字で書かれる。89・90は「豊」・「豊□」。90は体部外面に横位で書かれる。91は「守」。92は「田」。93は「文」。94は「閑」。95・96は「山」。97は「上」。110は「馬甘<sup>うまかい</sup>」。職名。111は「鳥<sup>うまかい</sup>」。人名。鳥は万呂の異体字で、任海宮田ほか遺跡群内では1点のみ確認した。112・113は「九」。113はヘラ書。114は「月」。116は「貴」。117は赤彩土師器碗の外面全体に多数の文字が書かれる。判読できる文字は「家」・「大」などと少なく、横位や倒立などの文字方向や大きさに統一性がないことから習書と考えられる。118は「解中」か。土師器甕の底部外面に細い線で刻まれる。98～101は「◎」。記号。128は「真」。129は「川」。

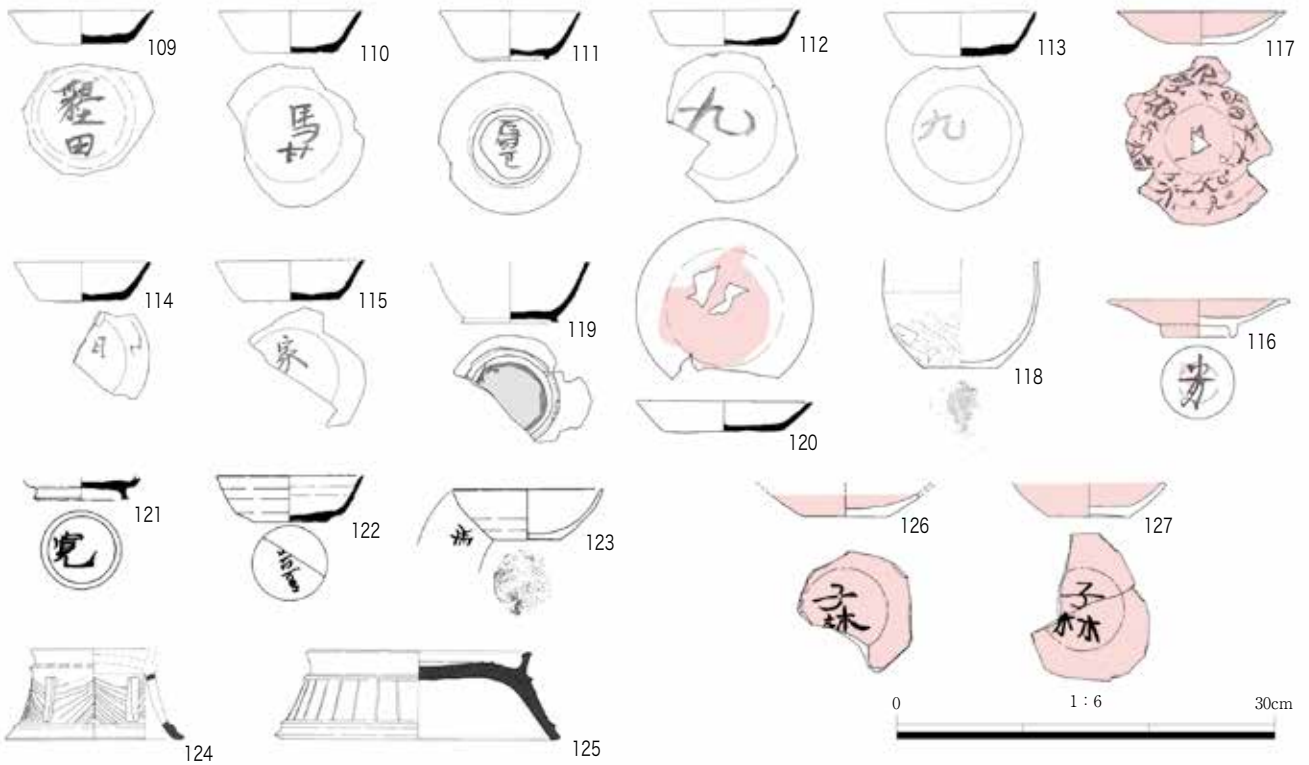
②硯（102～104・119・120・124・125） 102・119・120は転用硯。102・120は朱墨が残る。103・104・124・125は円面硯。103は脚部に四方透かしが入り、脚部中位に沈線が一条引かれる。104は脚部に四方透かしが入る。脚部中位に沈線が二条引かれ、格子状の模様が描かれている。海部分に使用痕による摩耗がみられる。124は脚部に四方透かしが入り、全面に透かしに向かって斜線が引かれる。125は脚部全面に沈線が引かれる。

③石帯（105～108） 105・106は丸靱。105は楕円形で、下辺を直線状に仕上げたもので、全面丁寧に磨かれる。下辺寄りに長方形の垂孔が設けられ、裏面に潜り穴が3箇所放射状に設けられる。石材は蛇紋岩。106は上辺部のみ丸みをもつもので、裏面には潜り穴が3箇所放射状に設けられる。石材はマイクログラニットで、表面は風化したように荒れている。107・108は巡方。107は横長の長方形を呈し、全面丁寧に磨かれている。裏面には潜り穴が放射状に3箇所設けられているが、左側の潜り穴には開け直しと考えられる潜り穴が認められる。また中央やや下辺寄りに、垂孔の製作に関わる痕跡とみられる横長の浅い溝があり、製品か、製作途上の未製品かは不明である。石材は蛇紋岩。108はほぼ正方形を呈し、全面丁寧に磨かれる。裏面の四隅に潜り穴がある。





写真6 友杉遺跡・吉倉B遺跡・栗山楮原遺跡出土品



第10図 友杉遺跡・吉倉B遺跡・栗山楮原遺跡出土品(1/6)

## 5 仏田遺跡出土品(富山県魚津市仏田)

－8世紀末～10世紀初め：文字関連資料23点(墨書土器23点)・その他資料1点(石帯1点)－

### (1) 遺跡と出土品の概要

遺跡は魚津市の中心部から北東へ2 km程離れた、片貝川<sup>かたかいがわ</sup>左岸の標高13.6～19.2mを測る扇状地上の微高地に立地する。海岸線までは直線距離で約900mである。平成20(2008)年度の調査では竪穴建物10棟、掘立柱建物21棟、道路1、土壇墓3基、溝を検出した。掘立柱建物21棟中9棟が庇付きで、掘立柱建物はL字形に配置される一方で、倉庫はない。柱穴や溝から墨書土器のほか、緑釉陶器・灰釉陶器・石製権状錘などが出土しているが、墨書に占める「三」の比率が極めて高いことが特筆される。その他の文字関連資料として、円面硯1点と転用硯27点があり、朱墨が付着したものが20点あり、朱墨の占有率の高さは特徴的である。

確認された道路を北へ延長すれば、布施川の河口付近右岸で海に達すると考えられている。その周辺は新川郡の古代布施駅の推定地とされているが、右岸とも左岸とも推定の域を出ない。調査結果においても、布施駅との直接的な関連は明らかにはなっていない。

選定した出土品は墨書土器と石帯である。墨書の中で特に出土量が多い「三」と三本線に、「川」を合わせると、識字可能な墨書の過半数となる。「三」の意味するところは、郡館を数字で一館、二館、三館などと呼ぶ例に倣えば、三館に相当する施設の存在を示すものと考えられる。また、「家」は郡家を表すと考えられる。確認された墨書の内容は第5表にまとめた。

さらに、石帯に付けられる石材は古代の律令的身分秩序を表し、その出土は相応の位階及び官職にある者の存在を示すと考えられることから、9世紀を中心とした、郡司層や富豪層など公的様相を示す重要な資料である。

### (2) 出土品各説

①墨書土器(1～23) 1・2・16～23は土師器。3～15は須恵器。1は「家」。側面外面に逆位で書かれる。中心的建物を表す。2は「南」か。3は「北」。底部いっぽいに書かれる。16は「西」?。内面見込みと外面側面に同様に書かれる。四方位が揃うことについては、建物の配置や使用場所等との関連が窺える。4～6は「川」。7～15は「三」または三本線。7・9は高台内部と側面外面に「三」が書かれる。8・10は底部を大きくはみ出し側面まで線がのびる。17・19・21・23は側面外面に横位の「三」。22は底部外面に「三」。18・20は「川」。

②石帯(24) 24は丸軋。材質は蛇紋岩で、垂孔はない。表面・側面は丁寧に磨かれているが、裏面は研磨されていない。裏面には、2個1対の潜り穴が3箇所ある。長さ4.4cm、幅2.4cm、厚さ0.6cm、重さ15.85 g。



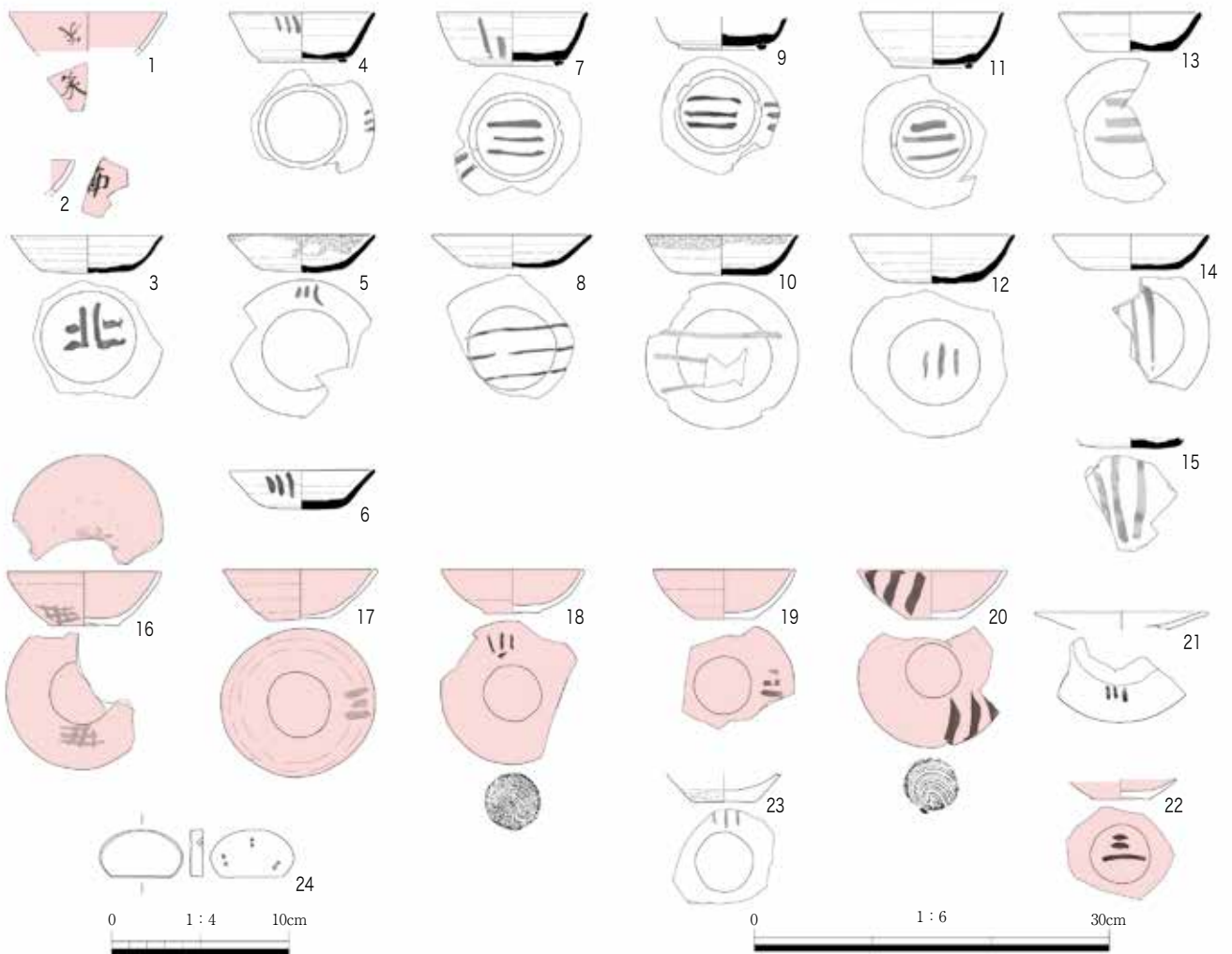
第11図 仏田遺跡位置図

第5表 墨書一覧

| 文字   | 数  | 文字       | 数  |
|------|----|----------|----|
| 「川」  | 15 | 「三」三本線   | 32 |
| 「家」  | 1  | 「二」二本線   | 14 |
| 「長」  | 3  | 「一」一本線   | 9  |
| 「北」  | 2  | 「○」      | 5  |
| 「西」? | 2  | 「王」(記号か) | 2  |
| 「東」  | 1  | 「×」      | 1  |
| 「南」? | 1  |          |    |
| 「万」  | 1  |          |    |
| 「出」  | 1  |          |    |
| 「女」  | 1  |          |    |
| 「市」? | 1  |          |    |



写真7 仏田遺跡出土品



第12図 仏田遺跡出土品(24 1/4, 1~23 1/6)



第6表 中谷内遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種 | 出土地点    |                                  | 法量 (cm)          |     |      | 時期          | 備考                    | 報告番号       |
|-----|-----|----|---------|----------------------------------|------------------|-----|------|-------------|-----------------------|------------|
|     |     |    | 遺構      |                                  | 口径               | 器高  | 底径   |             |                       |            |
| 1   | 須恵器 | 杯蓋 | SD1201  | No.17                            | 12.0<br>つまみ径 2.2 | 2.3 |      | 8世紀～9世紀     | 内面に「小金」<br>内面にへろ記号「一」 | 第171図 1291 |
| 2   | 須恵器 | 蓋  | SD1202  | X109Y50上層                        | 12.4<br>つまみ径 1.9 | 1.6 |      | 9世紀後半       | 内面に「小金」               | 第183図 1549 |
| 3   | 須恵器 | 蓋  | SD1202  | X105Y50下層                        | 12.9<br>つまみ径 2.8 | 3.0 |      | 10世紀後半      | 外面に「金カ」               | 第183図 1551 |
| 4   | 須恵器 | 蓋  | SD1202A | X78Y59                           | 12.6<br>つまみ径 2.3 | 2.1 |      | 9世紀後半       | 外面に「小カメカ」             | 第183図 1550 |
| 5   | 須恵器 | 杯B | SD1202  | X106Y50上層                        | 11.7             | 4.0 | 8.5  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「金縄」              | 第187図 1616 |
| 6   | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X112Y51上層                        | 12.9             | 4.0 | 8.6  | 9世紀後半       | 底部外面に「金縄」             | 第184図 1581 |
| 7   | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X129Y47, X130Y45, X131Y45        | 12.9             | 3.5 | 7.7  | 9世紀後半       | 底部外面に「金縄」             | 第184図 1582 |
| 8   | 須恵器 | 杯A | SD1201  | X113Y59下層                        | 13.0             | 3.0 | 6.4  | 8世紀～9世紀     | 底部外面に「金縄」             | 第171図 1309 |
| 9   | 須恵器 | 杯B | SD1202  | X110Y50下層, X111Y50下層             | 11.4             | 5.0 | 7.5  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「金柱」              | 第187図 1617 |
| 10  | 須恵器 | 杯B | SD1202  | X110Y50下層                        | 11.8             | 5.1 | 7.6  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「金柱」              | 第187図 1618 |
| 11  | 須恵器 | 杯  | SD1201  | X117Y47, X114Y53下層,<br>X117Y52下層 | 12.2             | 3.2 | 12.0 | 8世紀～9世紀     | 底部外面に「金」              | 第171図 1307 |
| 12  | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X109Y50下層                        | 11.7             | 3.6 | 7.8  | 9世紀後半       | 底部外面に「金」              | 第184図 1583 |
| 13  | 土師器 | 椀A | SD1201  | X113Y58下層, X116Y53下層             | 12.2             | 3.6 | 6.0  | 9世紀前半       | 底部外面に「金」              | 第167図 1188 |
| 14  | 須恵器 | 杯A | SD1202A | X108Y49                          | 11.9             | 3.5 |      | 9世紀後半       | 外面に「国博二カ御鏡」           | 第185図 1589 |
| 15  | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X104Y49, X106Y50下層               | 12.0             | 3.1 | 7.7  | 9世紀後半       | 底部外面に「歌人」             | 第185図 1594 |
| 16  | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X110Y50下層                        | 11.3             | 3.3 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「歌人」             | 第185図 1593 |
| 17  | 須恵器 | 杯A | SD1202A | X98Y52, X99Y51                   | 10.8             | 3.8 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「歌」              | 第185図 1592 |
| 18  | 須恵器 | 杯A | SD1202A | X108Y49                          | 11.4             | 3.5 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「歌」              | 第185図 1590 |
| 19  | 須恵器 | 杯A | SD1201  |                                  |                  |     | 9.1  | 8世紀～9世紀     | 底部外面に「田十」             | 第171図 1306 |
| 20  | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X105Y50下層                        | 11.0             | 3.5 | 8.2  | 9世紀後半       | 3と同じ文字か               | 第184図 1584 |
| 21  | 須恵器 | 杯A | SD1202  |                                  |                  |     | 9.1  | 8世紀～9世紀     | 底部外面に「伊十」             | 第171図 1305 |
| 22  | 須恵器 | 杯B | SD1201  | X117Y52上層                        | 11.0             | 4.1 | 6.6  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「山」               | 第173図 1322 |
| 23  | 須恵器 | 杯B | SD1201  | X114Y53下層, X114Y59               | 12.2             | 5.0 | 5.5  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「富」               | 第173図 1334 |
| 24  | 須恵器 | 杯B | SD1202A | X91Y55下層                         | 11.4             | 4.2 | 7.3  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「佐カ万呂」            | 第187図 1623 |
| 25  | 須恵器 | 杯B | SD1202A | X90Y54下層                         | 11.2             | 4.4 | 7.8  | 9世紀末～10世紀前半 | 高台内に「麻呂」              | 第187図 1621 |
| 26  | 須恵器 | 蓋  | SD1202  | X111Y50上層                        | 12.6<br>つまみ径 2.0 | 2.3 |      | 9世紀後半       | 転用硯 内面墨痕              | 第183図 1546 |
| 27  | 須恵器 | 蓋  | SD1201  | No.57                            | 12.6             | 2.8 |      | 9世紀後半       | 転用硯 内面墨痕              | 第170図 1284 |
| 28  | 須恵器 | 杯B | SD1201  |                                  |                  |     | 6.9  | 9世紀後半       | 転用硯 高台内墨痕             | 第173図 1319 |
| 29  | 須恵器 | 杯A | SD1202A | X90Y55                           | 11.2             | 3.1 |      | 9世紀後半       | 底部外面に漆書「十」            | 第185図 1597 |
| 30  | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X93Y51                           | 11.9             | 2.9 | 7.2  | 9世紀後半       | 底部外面に漆書「十」            | 第186図 1599 |
| 31  | 須恵器 | 杯A | SD1202  | X108Y49下層                        | 12.0             | 3.7 |      | 9世紀後半       | 底部外面に漆書「十」            | 第185図 1598 |

第7表 惣領浦之前遺跡出土品一覧

| No. | 種類   | 器種  | 出土地点 |  | 法量 (cm)          |     |      | 時期          | 備考                              | 報告番号       |
|-----|------|-----|------|--|------------------|-----|------|-------------|---------------------------------|------------|
|     |      |     | 遺構   |  | 口径               | 器高  | 底径   |             |                                 |            |
| 32  | 須恵器  | 杯B蓋 | SD1  | X75Y73底面直上 X75Y74底面<br>X76Y74底面        | 13.2             |     |      | 9世紀後半       | 内面に「中家」                         | 第118図 767  |
| 33  | 須恵器  | 杯B蓋 |      | X71Y77 I層                              |                  |     |      | 8世紀後半～9世紀前半 | 外面に「□□□[公カ土カ]豫□」                | 第142図 1339 |
| 34  | 須恵器  | 杯B  | SD1  | X74Y71底面 X74Y72底面<br>X75Y74底面          | 12.5             | 4.1 | 8.6  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「□[忍カカ]」                    | 第118図 773  |
| 35  | 須恵器  | 杯B  | SD1  | X73Y70底面                               |                  |     | 11.2 | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「小郡」                        | 第118図 772  |
| 36  | 須恵器  | 杯B  | SD1  | X73Y70底面 X74Y66底面<br>X74Y73底面          | 15.1             | 5.8 | 9.0  | 8世紀後半～9世紀初頭 | 転用硯<br>高台内に「□□[中家カ]」            | 第118図 770  |
| 37  | 須恵器  | 杯A  | SD1  | X74Y72底面 X74Y74底面                      | 11.7             | 3.2 | 7.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「歌人」                       | 第117図 763  |
| 38  | 須恵器  | 杯A  | SD1  | X74Y66底面                               | 11.7             | 3.5 | 7.6  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「歌人」                       | 第117図 764  |
| 39  | 須恵器  | 杯A  | SD1  | X72Y68底面 X73Y68底面<br>X73Y69底面 X74Y66底面 | 12.9             | 3.1 | 8.2  | 9世紀第2～第3四半期 | 底部外面に「仁□[支カカ]女」                 | 第117図 765  |
| 40  | 須恵器  | 杯A  | SD1  | X58Y67                                 | 12.6             | 3.2 | 8.3  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「真六□[万カ]」                  | 第117図 762  |
| 41  | 黒色土器 | 椀A  | SD1  | X73Y70底面                               | 12.0             | 3.8 | 5.0  | 8世紀末～9世紀初頭  | 底部外面に「衆」(歌カ)                    | 第134図 1184 |
| 42  | 須恵器  | 杯B蓋 | SD1  | X74Y71底面                               | 17.2             |     |      | 9世紀後半       | 内面に漆書「十」                        | 第119図 786  |
| 43  | 須恵器  | 杯B  | SD1  | X73Y70底面 X74Y71底面                      |                  |     | 8.8  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に漆書「十」                       | 第119図 789  |
| 44  | 須恵器  | 杯B  | SD1  | X73Y70底面                               | 16.2             | 6.5 | 8.8  | 9世紀第2～第3四半期 | 高台内に漆書「十」                       | 第119図 788  |
| 45  | 須恵器  | 杯A  | SD1  | X74Y69底面 X75Y74底面                      | 11.6             | 2.8 | 7.5  | 8世紀後半～9世紀初頭 | 底部外面に漆書「十」                      | 第119図 790  |
| 46  | 須恵器  | 杯B蓋 | SD2  | X100Y42茶色粘土層                           | 12.6<br>つまみ径 2.3 | 2.6 |      | 8世紀後半       | 内面墨付着                           | 第60図 222   |
| 47  | 須恵器  | 杯B蓋 | SD2  | X100Y42茶色粘土層                           | 11.4<br>つまみ径 2.7 | 2.9 |      | 8世紀後半       | 転用硯<br>内面墨付着 外面墨痕<br>内面にへろ記号「×」 | 第60図 223   |
| 48  | 須恵器  | 杯B  | SD1  | X72Y67底面 X74Y73底面                      | 11.8             | 3.8 | 8.2  | 8世紀後半～9世紀初頭 | 転用硯<br>高台内墨付着                   | 第120図 812  |

第8表 出来田南遺跡出土品一覧 (1)

| No. | 種類   | 器種 | 出土地点 |               | 法量 (cm) |       |      | 時期          | 備考             | 報告番号     |
|-----|------|----|------|---------------|---------|-------|------|-------------|----------------|----------|
|     |      |    | 遺構   |               | 口径      | 器高    | 底径   |             |                |          |
| 1   | 荷礼木簡 |    | 大溝   | X35Y21        | 17.0    | 2.6   | 0.5  | 8世紀後半～9世紀前半 | 荷礼木簡           | 第78図 631 |
| 2   | 習書木簡 |    | 大溝   | X31Y21        | (23.4)  | 1.9   | 0.7  | 8世紀後半～9世紀前半 | 習書木簡           | 第78図 632 |
| 3   | 須恵器  | 杯A | 大溝   | X48Y18 X35Y25 | 11.4    | 3.5   | 7.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「采女」      | 第55図 45  |
| 4   | 須恵器  | 杯A | 大溝   | X38Y17        | 13.0    | 3.4   | 10.0 | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「大家」      | 第55図 31  |
| 5   | 須恵器  | 杯A | 大溝   | X36Y16        | 11.8    | 3.2   | 8.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「大家」      | 第55図 32  |
| 6   | 須恵器  | 杯蓋 | 大溝   | X35Y21        | 12.0    | 2.7   | —    | 8世紀後半～9世紀前半 | 外面に「酒麩」 天井部に墨痕 | 第63図 300 |
| 7   | 須恵器  | 杯蓋 | 大溝   | X40Y19        | 11.6    | 3.3   | —    | 8世紀後半～9世紀前半 | 外面に「酒麩」 内面に「井」 | 第63図 301 |
| 8   | 須恵器  | 杯蓋 | 大溝   | X35Y21        | 12.3    | (1.7) | —    | 8世紀後半～9世紀前半 | 内面に「酒麩」 天井部に墨痕 | 第63図 303 |
| 9   | 須恵器  | 杯A | 大溝   | X32Y20        | 12.5    | 3.5   | 8.2  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「酒万呂」     | 第55図 13  |



第8表 出来田南遺跡出土品一覧(2)

| No. | 種類  | 器種  | 出土地点   |                      | 法量 (cm) |       |      | 時期          | 備考  | 報告番号     |
|-----|-----|-----|--------|----------------------|---------|-------|------|-------------|---|----------|
|     |     |     | 遺構     |                      | 口径      | 器高    | 底径   |             |   |          |
| 10  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X42Y16               | 10.8    | 4.1   | 6.0  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「酒廬」                                    | 第55図 179 |
| 11  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X37Y24 X35Y25 X35Y24 | 12.4    | 3.9   | 7.3  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「酒廬」                                    | 第55図 177 |
| 12  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X36Y20               | 11.6    | 2.6   | 8.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 外面に横位「酒廬」                                   | 第55図 16  |
| 13  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X40Y21 X41Y22 X42Y18 | 11.9    | 2.9   | 8.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「酒廬」                                   | 第55図 12  |
| 14  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X41Y17               | 11.0    | 3.9   | 7.2  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「安万呂」                                   | 第55図 183 |
| 15  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X48Y18 X48Y19        | 16.8    | 7.0   | 10.3 | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「安万呂」                                   | 第55図 184 |
| 16  | 須恵器 | 杯蓋  | 大溝     | X46Y19               | 15.8    | 2.4   | —    | 8世紀後半～9世紀前半 | 外面に「友田土」 転用硯?                               | 第63図 307 |
| 17  | 須恵器 | 椀   | 大溝     | X32Y18               | 11.6    | 4.7   | 7.1  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「友田土」                                   | 第66図 398 |
| 18  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X48Y19               | —       | (2.3) | 8.2  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「友田土」                                  | 第55図 18  |
| 19  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X31Y20               | 13.4    | 4.8   | 8.0  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「友田土」                                   | 第60図 194 |
| 20  | 須恵器 | 椀   | 大溝     | X32Y19 X35Y21 X33Y19 | 12.0    | 5.2   | 6.8  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「友田土」                                   | 第66図 399 |
| 21  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X35Y21               | 11.8    | 4.4   | 6.8  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「上川邊」                                   | 第60図 192 |
| 22  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X39Y20               | 11.8    | 3.6   | 8.0  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「上川邊」                                  | 第55図 41  |
| 23  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X32Y21               | —       | (0.9) | 6.3  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「上川邊」                                  | 第55図 42  |
| 24  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X43Y18               | —       | (1.3) | 9.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「正月」                                   | 第55図 47  |
| 25  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X44Y19               | 13.8    | 5.4   | 7.2  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「専」                                     | 第60図 196 |
| 26  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X38Y17               | —       | (2.3) | 9.5  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「専」                                     | 第60図 197 |
| 27  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X45Y20 X40Y22 X43Y16 | 12.2    | 3.6   | 8.7  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「三方口」                                  | 第55図 33  |
| 28  | 須恵器 | 杯蓋  | 大溝     | X31Y20               | 11.8    | 2.8   | —    | 8世紀後半～9世紀前半 | 外面に「五十」                                     | 第63図 305 |
| 29  | 須恵器 | 椀   | 大溝     | X49Y19               | 13.3    | 4.2   | 6.6  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「五十」 口縁部に漆付着                            | 第66図 400 |
| 30  | 須恵器 | 杯A  | 大溝     | X46Y17               | 12.4    | 3.8   | 8.1  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部外面に「五十」                                   | 第55図 43  |
| 31  | 須恵器 | 杯B  | 大溝     | X34Y20               | 12.8    | 4.2   | 7.4  | 8世紀後半～9世紀前半 | 高台内に「六口」                                    | 第60図 210 |
| 32  | 須恵器 | 円面硯 | SD2270 | X86Y36 X85Y35 X65Y31 | 24.4    | 6.8   | —    | 8世紀代        | 脚付き円面硯<br>側面に竹管・クシ状工具による連続刺突文<br>脚上部に竪立て状の孔 | 第66図 417 |

第9表 井口本江遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種  | 出土地点   |             | 法量 (cm) |     |      | 時期    | 備考         | 報告番号     |
|-----|-----|-----|--------|-------------|---------|-----|------|-------|------------|----------|
|     |     |     | 遺構     |             | 口径      | 器高  | 底径   |       |            |          |
| 33  | 須恵器 | 杯蓋  | F      | X55Y137 II層 | 13.9    | 2.7 | —    | 8世紀後半 | 外面に「河芥カ」   | 第80図 391 |
| 34  | 須恵器 | 杯A  | SD4059 | 取り上げNo.41   | 12.5    | 3.6 | 9.4  | 8世紀後半 | 底部外面に「秋万呂」 | 第79図 333 |
| 35  | 須恵器 | 杯A  | SD4059 | 取り上げNo.32   | 11.4    | 3.1 | 8.0  | 8世紀後半 | 底部外面に「//」  | 第79図 334 |
| 36  | 須恵器 | 円面硯 | C      | X194Y173    | 15.6    | 3.6 | 9.4  | 8世紀後半 |            | 第81図 429 |
| 37  | 須恵器 | 円面硯 | C      | X210Y184 I層 | 16.0    | 4.6 | 17.8 | 8世紀後半 |            | 第81図 433 |

第10表 任海宮田遺跡出土品一覧(1)

| No. | 種類    | 器種 | 出土地点     |                  | 法量 (cm・g) |      |     |    | 時期          | 備考              | 報告番号           |
|-----|-------|----|----------|------------------|-----------|------|-----|----|-------------|-----------------|----------------|
|     |       |    | 遺構       |                  | 口径        | 器高   | 底径  | 重さ |             |                 |                |
| 1   | 須恵器   | 杯A | C14・23   | SK028            | 11.5      | 3.05 | 6.8 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「懸田」       | 2008第301図 781  |
| 2   | 須恵器   | 杯A | C9       | SD001            | —         | —    | 8.6 | —  | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「庄」        | 2008第286図 316  |
| 3   | 須恵器   | 杯A | C9       | SD001            | 10.4      | 3.6  | 7.6 | —  | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「庄」?       | 2008第286図 321  |
| 4   | 土師器   | 椀A | C8       | SK110            | 11.4      | 3.8  | 4.4 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「西家」       | 2008第283図 210  |
| 5   | 土師器   | 椀A | B6       |                  | —         | —    | 5.8 | —  | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「西家」       | 2007第320図 2557 |
| 6   | 須恵器   | 杯A | C22      |                  | —         | —    | 6.0 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「観音寺」      | 2008第331図 1840 |
| 7   | 須恵器   | 杯A | C10      |                  | —         | —    | —   | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「観」        | 2008第292図 496  |
| 8   | 土師器   | 椀B | O        | X89Y175 3層       | —         | —    | 7.2 | —  | 9世紀後半       | 高台内に「東本」        | 1997第64図 80    |
| 9   | 土師器   | 椀A | L1       | X113Y163 2層      | —         | —    | —   | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「酒杯」 内外面赤彩 | 1997第32図 70    |
| 10  | 土師器   | 鍋  | I SD-06  |                  | 20.0      | —    | —   | —  | 8世紀末～9世紀前半  | 底部外面に「丈部田能古」    | 1997第19図 80    |
| 11  | 須恵器   | 杯蓋 | O SI-10  |                  | 11.6      | 2.1  | —   | —  | 9世紀後半～10世紀初 | 頂部に「城長」         | 1997第63図 49    |
| 12  | 須恵器   | 杯A | O SI-10  |                  | 12.1      | 3.2  | 7.4 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「城長」       | 1997第63図 50    |
| 13  | 須恵器   | 杯A |          |                  | —         | —    | 5.6 | —  | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「城長」       | 2007第320図 3064 |
| 14  | 須恵器   | 杯A | C20      |                  | —         | —    | 6.7 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「城長」(城長?)  | 2008第320図 1490 |
| 15  | 土師器   | 椀A |          |                  | 13.9      | 4.8  | 6.8 | —  | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「城長」 赤彩    | 2007第320図 3063 |
| 16  | 土師器   | 椀A | C20      |                  | 12.7      | 4.2  | 5.9 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「城長」       | 2008第322図 1561 |
| 17  | 土師器   | 椀A | C19      |                  | 12.8      | 4.1  | 6.0 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「城長」       | 2008第310図 1113 |
| 18  | 土師器   | 椀B | C        | X123Y180 3層      | —         | —    | 7.2 | —  | 9世紀後半       | 高台内に「城長」        | 1996第48図 739   |
| 19  | 土師器   | 椀A | I        | X168Y122 IIId 谷部 | —         | —    | —   | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「城長」       | 1997第18図 72    |
| 20  | 須恵器   | 杯B | C8       | SD001            | 13.6      | 3.7  | 9.2 | —  | 8世紀後半～9世紀前半 | 底部高台内外面に「笠丸」    | 2008第283図 194  |
| 21  | 須恵器   | 杯A | C20      |                  | —         | —    | 6.4 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「浄万呂」      | 2008第320図 1495 |
| 22  | 須恵器   | 杯B | C19      |                  | —         | —    | 6.4 | —  | 9世紀後半       | 底部高台内外面に「有成」    | 2008第308図 1041 |
| 23  | 須恵器   | 杯A | B SI-06  |                  | 11.6      | 3.3  | 5.8 | —  | 9世紀前半       | 底部外面に「有成」       | 1996第31図 123   |
| 24  | 赤彩土師器 | 椀A | C10      |                  | —         | —    | 5.5 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「有」 内外面赤彩  | 2008第293図 545  |
| 25  | 土師器   | 皿B | B6       | SI16             | 13.9      | 2.4  | 8.0 | —  | 9世紀後半～10世紀初 | 高台内に「芳口」        | 2007第320図 1617 |
| 26  | 土師器   | 椀A | C8       | SD001            | —         | —    | 5.5 | —  | 8世紀後半～9世紀   | 底部外面に「廣女」       | 2008第284図 214  |
| 27  | 土師器   | 椀A | B6       |                  | —         | —    | 5.4 | —  | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「廣」        | 2007第320図 2559 |
| 28  | 土師器   | 椀A | L2 SI117 |                  | 12.0      | 4.1  | 5.8 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「廣成」       | 1997第40図 149   |
| 29  | 土師器   | 椀A | L2 SI117 |                  | 12.2      | 4.1  | 6.0 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「廣成」       | 1997第40図 150   |
| 30  | 土師器   | 椀A | C SI-01  |                  | 12.2      | 4.0  | 5.3 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「廣成」       | 1996第35図 299   |
| 31  | 土師器   | 椀A | C SI-01  |                  | —         | —    | 5.6 | —  | 9世紀後半       | 底部外面に「廣成」       | 1996第35図 298   |
| 32  | 須恵器   | 杯蓋 | C9       | SD001            | 13.0      | 2.7  | —   | —  | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「斐家成」      | 2008第286図 287  |
| 33  | 須恵器   | 杯蓋 | C9       | SD001            | 11.2      | 2.8  | —   | —  | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「家成」       | 2008第286図 286  |
| 34  | 須恵器   | 杯A | C9       | SD001            | 11.8      | 2.9  | 8.5 | —  | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「家成」       | 2008第286図 311  |
| 35  | 須恵器   | 杯A | C9       |                  | 11.8      | 2.9  | 8.2 | —  | 9世紀中頃       | 底部外面に「家成」       | 2008第288図 373  |
| 36  | 須恵器   | 杯A | C9       |                  | 9.8       | 2.9  | 6.6 | —  | 9世紀中頃       | 底部外面に「家成」と「斐」   | 2008第288図 367  |
| 37  | 須恵器   | 杯A | C9       |                  | 11.3      | 2.85 | 8.0 | —  | 9世紀中頃       | 底部外面に「斐」と「家成」   | 2008第288図 374  |

第10表 任海宮田遺跡出土品一覽(2)

| No. | 種類    | 器種        | 出土地点     |             | 法量 (cm・g) |      |     |      | 時期          | 備考                          | 報告番号           |
|-----|-------|-----------|----------|-------------|-----------|------|-----|------|-------------|-----------------------------|----------------|
|     |       |           | 遺構       |             | 口徑        | 器高   | 底徑  | 重さ   |             |                             |                |
| 38  | 須恵器   | 杯A        | C9       |             | 11.7      | 3.2  | 8.2 |      | 9世紀中頃       | 底部外面に「家成」                   | 2008第288図 372  |
| 39  | 須恵器   | 杯A        | C9       | SD001       | 11.8      | 2.9  | 9.0 |      | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「家成」                   | 2008第286図 308  |
| 40  | 須恵器   | 杯B        | C9       | SD001       | 15.6      | 6.1  | 9.7 |      | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「家」                    | 2008第286図 296  |
| 41  | 須恵器   | 杯A        | C7       |             |           |      | 6.0 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「家□」「家成」か?             | 2008第282図 127  |
| 42  | 須恵器   | 杯A        | C13・15   | SD001       | 11.6      | 3.25 | 7.7 |      | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「菱」                    | 2008第298図 689  |
| 43  | 赤彩土師器 | 椀A        | C8       | SD001       | 12.2      | 3.8  | 5.4 |      | 8世紀後半～9世紀   | 体部外面と底部外面に「□」不明<br>内外面赤彩    | 2008第284図 215  |
| 44  | 土師器   | 椀A        | C20      | SI08        | 11.6      | 4.0  | 5.7 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「家」                    | 2008第313図 1211 |
| 45  | 須恵器   | 杯A        | C20      |             | 11.6      | 3.2  | 8.8 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第320図 1473 |
| 46  | 須恵器   | 杯A        | C20      |             | 11.8      | 3.15 | 7.6 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第320図 1472 |
| 47  | 須恵器   | 杯A        | C19      | SD034       | 10.6      | 3.2  | 7.2 |      | 9世紀後半       | 体部と底部の外面に「縄足」               | 2008第307図 998  |
| 48  | 須恵器   | 杯A        | C19      |             | 11.3      | 3.3  | 7.7 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第309図 1056 |
| 49  | 須恵器   | 杯A        | C20      | SD008       | —         | —    | 7.2 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第316図 1329 |
| 50  | 須恵器   | 杯A        | C20      |             | —         | —    | 7.0 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第320図 1474 |
| 51  | 須恵器   | 杯A        | C20      | SD001       | —         | —    | 8.1 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第315図 1280 |
| 52  | 須恵器   | 杯A        | C20      | SD008       | —         | —    | 6.1 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄足」                   | 2008第316図 1338 |
| 53  | 須恵器   | 杯A        | C22      |             | 11.5      | 3.3  | 7.0 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄」                    | 2008第331図 1837 |
| 54  | 須恵器   | 杯A        | C22      | SD008       | —         | —    | 7.0 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「縄」(縄足?)               | 2008第316図 1325 |
| 55  | 須恵器   | 杯B        | C20      |             | —         | —    | 5.6 |      | 9世紀後半       | 底部高台内外面に「縄足」                | 2008第319図 1447 |
| 56  | 赤彩土師器 | 椀A        | C19      |             | —         | —    | 4.6 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「関」と体部外面に「縄足」<br>内外面赤彩 | 2008第310図 1127 |
| 57  | 須恵器   | 杯A        | A1       | SI01        | 13.0      | 3.8  | 6.1 |      | 9世紀後半       | 底部外面に刻書「九」                  | 2006第124図 1    |
| 58  | 土師器   | 椀A        | B6       | SX211       | 12.1      | 3.5  | 6.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 2064 |
| 59  | 土師器   | 椀A        | B6       | SK1259      | 11.7      | 4.0  | 4.8 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 1844 |
| 60  | 土師器   | 椀A        | B6       | SD325       | 12.8      | 4.3  | 4.9 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 2249 |
| 61  | 土師器   | 椀A        | B6       | SI17        | 11.8      | 4.0  | 5.3 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」<br>口縁部タール状物質付着     | 2007第320図 1642 |
| 62  | 土師器   | 椀A        | B6       | SK1263      | 12.7      | 4.1  | 5.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 1920 |
| 63  | 土師器   | 椀A        | B6       | SX211       | 11.8      | 4.4  | 5.4 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 2061 |
| 64  | 土師器   | 椀A        | B6       | SK1270      | 12.4      | 3.7  | 5.6 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 1931 |
| 65  | 土師器   | 椀A        | B6       | SK1270      | 12.4      | 3.5  | 6.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」                    | 2007第320図 1932 |
| 66  | 土師器   | 皿B        | B6       | SK1263      | 13.2      | 3.1  | 6.9 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 高台内に「成」 内外面赤彩               | 2007第320図 1921 |
| 67  | 土師器   | 皿B        | B6       | SK1263      | 13.1      | 3.1  | 7.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 高台内に「成」 内外面赤彩               | 2007第320図 1922 |
| 68  | 土師器   | 椀A        | B6       | SK1270      | 11.0      | 3.8  | 5.2 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「成」<br>内黒 外面赤彩         | 2007第320図 1935 |
| 69  | 須恵器   | 杯B        | B1       |             |           |      | 9.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」                    | 2007第320図 898  |
| 70  | 須恵器   | 杯A        | B1       | SD201       | 12.0      | 2.8  | 7.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」                    | 2007第320図 450  |
| 71  | 須恵器   | 杯A        | B1       |             | 12.2      | 3.1  | 6.4 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」                    | 2007第320図 910  |
| 72  | 土師器   | 椀A        | B1       | SD201       | 12.4      | 4.0  | 4.7 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」 内外面赤彩              | 2007第320図 452  |
| 73  | 土師器   | 椀A        | B2       |             | 12.0      | 4.0  | 5.4 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」                    | 2007第320図 1321 |
| 74  | 土師器   | 椀A        | B1       | SI02        | 12.8      | 4.6  | 5.6 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」                    | 2007第320図 45   |
| 75  | 土師器   | 椀A        | B1       | SI02        | 12.3      | 4.0  | 5.1 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「平」                    | 2007第320図 46   |
| 76  | 土師器   | 椀A        | C10      |             | 12.6      | 4.2  | 5.2 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「平」                    | 2008第293図 534  |
| 77  | 土師器   | 皿B        | B1       | SX001       | 13.0      | 2.7  | 5.7 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 高台内に「平」                     | 2007第320図 372  |
| 78  | 土師器   | 椀A        | C22      | SI03        | 12.3      | 4.25 | 5.4 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 体部外面に「大」                    | 2008第327図 1709 |
| 79  | 土師器   | 皿B        | B6       | SK1270      | 13.7      | 3.1  | 8.4 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 高台内に「大」 内外面赤彩               | 2007第320図 1934 |
| 80  | 須恵器   | 杯蓋        | B13      | SI30        | 12.0      |      |     |      | 9世紀後半～10世紀初 | 天井部に「貳」                     | 2007第320図 2803 |
| 81  | 須恵器   | 杯A        | C20      |             | 11.8      | 4.0  | 6.2 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「貳」                    | 2008第320図 1488 |
| 82  | 須恵器   | 杯A        | C20      |             | 11.4      | 3.3  | 7.0 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「貳」                    | 2008第320図 1489 |
| 83  | 須恵器   | 杯A        | B SI-04  |             | 11.1      | 3.2  | 7.3 |      | 9世紀         | 底部外面に「貳」                    | 1996第30図 108   |
| 84  | 土師器   | 椀A        | G SI-05  |             | 11.6      | 3.8  | 5.5 |      | 9世紀前半       | 底部外面に「貳」                    | 1996第44図 642   |
| 85  | 土師器   | 椀A        | L2 SI117 |             | 11.8      | 4.2  | 6.0 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「人」                    | 1997第40図 151   |
| 86  | 土師器   | 椀A        | B6       |             | 15.8      | 5.6  | 6.4 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「□」                    | 2007第320図 2556 |
| 87  | 須恵器   | 杯A        | C11      | SI02        | 11.6      | 3.5  | 6.4 |      | 8世紀末～9世紀前半  | 底部外面に「福」 口縁部内面に煤付着          | 2008第296図 625  |
| 88  | 土師器   | 椀A        | I SD-06  |             | 12.0      | 4.3  | 5.0 |      | 9世紀後半       | 体部外面に「福」 内黒                 | 1997第19図 79    |
| 89  | 須恵器   | 杯B        | L1       | X112Y168 3層 |           |      | 9.0 |      | 9世紀後半       | 高台内に「豊」                     | 1997第32図 66    |
| 90  | 土師器   | 椀         | L1       | X139Y160 2層 | 12.4      |      |     |      | 9世紀後半       | 体部外面に「豊□」 内黒                | 1997第32図 67    |
| 91  | 土師器   | 椀A        | C18      |             | 15.3      | 5.3  | 6.1 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「守」                    | 2008第305図 915  |
| 92  | 土師器   | 椀A        | B1       | SI03        | 13.4      | 3.8  | 6.3 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 体部外面に「田」                    | 2007第320図 102  |
| 93  | 須恵器   | 杯A        | C13・15   | SD001       | 12.3      | 3.0  | 9.0 |      | 8世紀後半～9世紀中頃 | 底部外面に「文」                    | 2008第298図 688  |
| 95  | 須恵器   | 皿B        | B6       | SD325       | 12.5      | 3.9  | 6.7 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 高台内に「関」                     | 2007第320図 2250 |
| 95  | 須恵器   | 杯A        | C14・23   | SD014       | —         | —    | 6.4 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「山」                    | 2008第301図 782  |
| 96  | 土師器   | 椀A        | A9       | SI01        | 11.8      | 4.2  | 5.8 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「山」                    | 2006第140図 649  |
| 97  | 土師器   | 椀A        | B1       | SX001       | —         | —    | 5.0 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 底部外面に「上」                    | 2007第320図 377  |
| 98  | 須恵器   | 杯A        | B SI-13  | No47        | 11.6      | 3.6  | 5.4 |      | 9世紀後半       | 体部外面に「二」                    | 1996第49図 752   |
| 99  | 須恵器   | 杯蓋        | O SI-05  |             | 16.4      |      |     |      | 9世紀後半       | 頂部に「◎」                      | 1997第62図 24    |
| 100 | 須恵器   | 杯A        | K        | X170Y175 1層 |           |      | 7.7 |      | 9世紀後半       | 底部外面に「◎」                    | 1997第23図 8     |
| 101 | 須恵器   | 杯A        | K        | X175Y176 川  |           |      |     |      | 9世紀後半       | 底部外面に「◎」                    | 1997第23図 7     |
| 102 | 須恵器   | 杯B        | C20      | SI04        | —         | —    | 6.3 |      | 9世紀後半～10世紀初 | 転用硯:底部高台内外面に朱               | 2008第311図 1163 |
| 103 | 須恵器   | 円面硯       | B6       | SK1174      | 12.1      |      |     |      | 9世紀後半～10世紀初 |                             | 2007第320図 1875 |
| 104 | 須恵器   | 円面硯       | B6       |             | 11.6      | 8.0  |     |      | 9世紀後半～10世紀初 |                             | 2007第320図 2955 |
| 105 | 丸靱    | 蛇紋岩       | B13      | SI32        | 3.3       | 2.3  | 0.5 | 6.27 | 9世紀代        |                             | 2007第435図 74   |
| 106 | 巡方    | マイクログラニット | B6       | SK1229      | 3.8       | 3.4  | 0.7 | 22.4 | 9世紀代        | 表面風化顕著                      | 2007第432図 38   |
| 107 | 巡方    | 蛇紋岩       | B6       |             | 3.8       | 3.0  | 0.6 | 14.5 | 9世紀代        |                             | 2007第432図 37   |
| 108 | 巡方    | 蛇紋岩       | L2       |             | 3.8       | 3.5  | 0.6 |      | 9世紀代        |                             | 1997第40図 190   |

第11表 友杉遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種 | 出土地点     |                        | 法量 (cm) |       |     | 時期           | 備考                 | 報告番号      |
|-----|-----|----|----------|------------------------|---------|-------|-----|--------------|--------------------|-----------|
|     |     |    | 遺構       |                        | 口径      | 器高    | 底径  |              |                    |           |
| 109 | 須恵器 | 杯A | SI1193A2 |                        | 11.4    | 2.7   | 7.1 | 9世紀中頃        | 底部外面に「斐田」          | 第214図 209 |
| 110 | 須恵器 | 杯A | C4       | X280+4.7m<br>Y345+2.5m | 11.2    | 3.4   | 6.4 | 9世紀中頃        | 底部外面に「馬甘(うまかい)」    | 第214図 208 |
| 111 | 須恵器 | 杯B | SI850A4  |                        | 11.0    | 4.0   | 6.0 | 9世紀中頃        | 高台内に「鳥己」(己は万呂の異体字) | 第215図 250 |
| 112 | 須恵器 | 杯A | SD40B8   |                        | 11.6    | 2.8   | 8.4 | 9世紀中頃        | 底部外面に「九」           | 第214図 213 |
| 113 | 須恵器 | 杯A | SD40B8   |                        | 11.8    | 3.5   | 7.7 | 9世紀中頃        | 底部外面に「へら書」九        | 第214図 212 |
| 114 | 須恵器 | 杯A | SD40B8   |                        | 10.6    |       | 6.9 | 9世紀中頃        | 底部外面に「月」           | 第214図 202 |
| 115 | 須恵器 | 杯A | SD40B8   |                        |         | (1.5) | 6.8 | 9世紀中頃        | 底部外面に「家」           | 第214図 206 |
| 116 | 土師器 | 皿B | A3       | X59Y263IIc層            | 14.4    | 3.0   | 6.0 | 9世紀後半～10世紀初頭 | 高台内に「貴」            | 第214図 380 |
| 117 | 土師器 | 椀A | A3       | X58Y285排水溝             | 13.4    | 2.6   | 5.4 | 9世紀後半～10世紀初頭 | 外面全体多文字墨書 内外面赤彩    | 第225図 430 |
| 118 | 土師器 | 壺  | SI201A3  |                        |         | (8.5) | 5.9 | 9世紀代         | 底部外面に線刻「解中」?       | 第214図 505 |
| 119 | 須恵器 | 杯B | SI349C4  |                        |         | (4.9) | 7.7 | 9世紀中頃        | 高台内に墨痕             | 第215図 252 |
| 120 | 須恵器 | 杯A | SI708A1  |                        | 13.6    | 2.5   | 9.6 | 9世紀後半～10世紀初頭 |                    | 第215図 234 |

第12表 吉倉B遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種  | 出土地点        |          | 法量 (cm) |     |        | 時期         | 備考          | 報告番号          |
|-----|-----|-----|-------------|----------|---------|-----|--------|------------|-------------|---------------|
|     |     |     | 遺構          |          | 口径      | 器高  | 底径     |            |             |               |
| 121 | 須恵器 | 杯B  | B2          | X29Y6162 |         |     | 7.1    | 8世紀中葉～9世紀末 | 底部外面に「寛」    | 1993第320図 470 |
| 122 | 須恵器 | 杯A  | B2 SX06     |          | 11.8    | 3.6 | 6.7    | 8世紀中葉～9世紀末 | 底部外面に「山古万呂」 | 1993第320図 372 |
| 123 | 土師器 | 椀A  | B2 SX06     |          | 12.2    | 3.9 | 5.4    | 8世紀中葉～9世紀末 | 体部外面に「柴」    | 1993第322図 373 |
| 124 | 須恵器 | 円面硯 | B3          | X61Y19   |         |     | 14.4   | 8世紀中葉～9世紀末 |             | 1994第329図 231 |
| 125 | 須恵器 | 円面硯 | B3 SB04-P10 |          | (17.7)  | 7.2 | (22.4) | 8世紀中葉～9世紀末 |             | 1994第329図 247 |

第13表 栗山楮原遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種 | 出土地点 |        | 法量 (cm) |    |     | 時期     | 備考              | 報告番号   |
|-----|-----|----|------|--------|---------|----|-----|--------|-----------------|--------|
|     |     |    | 遺構   |        | 口径      | 器高 | 底径  |        |                 |        |
| 126 | 土師器 | 椀A |      | X42Y25 |         |    | 4.6 | 10世紀前半 | 底部外面に「子林」 内外面赤彩 | 第24図 2 |
| 127 | 土師器 | 椀A |      | X45Y26 |         |    | 5.0 | 10世紀前半 | 底部外面に「子林」 内外面赤彩 | 第24図 6 |

第14表 南中田D遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種 | 出土地点 |        | 法量 (cm) |    |     | 時期           | 備考            | 報告番号     |
|-----|-----|----|------|--------|---------|----|-----|--------------|---------------|----------|
|     |     |    | 遺構   |        | 口径      | 器高 | 底径  |              |               |          |
| 128 | 土師器 | 椀A | SX30 |        |         |    | 5.3 | 9世紀後半～10世紀初頭 | 底部外面に「吉」      | 写真図版66-7 |
| 129 | 土師器 | 皿A |      | X58Y16 |         |    | 5.1 | 9世紀後半～10世紀初頭 | 体部外面に「川」 倒立文字 | 写真図版66-8 |

第15表 仏田遺跡出土品一覧

| No. | 種類  | 器種  | 出土地点              |                                | 法量 (cm・g) |     |     |       | 時期          | 備考                             | 報告番号      |
|-----|-----|-----|-------------------|--------------------------------|-----------|-----|-----|-------|-------------|--------------------------------|-----------|
|     |     |     | 遺構                |                                | 口径        | 器高  | 底径  | 重さ    |             |                                |           |
| 1   | 土師器 | 椀   |                   | X81Y91II層                      | 13.0      |     |     |       | 9世紀         | 側面外面に逆位「家」<br>内外面に赤彩の跡あり       | 第101図 621 |
| 2   | 土師器 | 椀   | SD2649            | X80Y92                         |           |     |     |       | 9世紀         | 側面外面に縦位「南」か<br>内外面赤彩           | 第100図 595 |
| 3   | 須恵器 | 杯A  | SF2672・<br>SD2649 | X80Y92                         | 12.1      | 3.2 | 7.5 |       | 9世紀         | 底部外面に「北」                       | 第83図 245  |
| 4   | 須恵器 | 杯B  |                   | X55Y89II層・<br>X57Y88II層        | 11.5      | 4.2 | 7.1 |       | 9世紀         | 側面外面縦位に「川」                     | 第89図 420  |
| 5   | 須恵器 | 杯A  | SP2302            | X50Y85II層                      | 11.4      | 3.2 | 6.8 |       | 9世紀         | 側面に縦位「川」<br>口縁部内外面スス付着         | 第82図 235  |
| 6   | 須恵器 | 杯A  | SP2670            |                                | 11.4      | 3.3 | 6.5 |       | 9世紀         | 外面側面に縦位「川」                     | 第82図 221  |
| 7   | 須恵器 | 杯B  |                   | X48Y85II層・<br>X65Y91II層        | 11.8      | 4.5 | 7.5 |       | 9世紀         | 底部外面に「三」<br>側面外面縦位二本線          | 第90図 452  |
| 8   | 須恵器 | 杯A  |                   | X55Y87II層                      | 12.4      | 2.8 | 7.0 |       | 9世紀         | 底部外面に三本線                       | 第85図 303  |
| 9   | 須恵器 | 杯B  |                   | X60Y90II層                      |           |     | 7.1 |       | 9世紀         | 側面外面に「三」<br>底部外面に「三」           | 第91図 467  |
| 10  | 須恵器 | 杯A  | SP2152            |                                | 12.2      | 3.5 | 7.8 |       | 9世紀         | 底部外面に三本線<br>口縁部内外面スス付着         | 第83図 239  |
| 11  | 須恵器 | 杯B  | SF2672            |                                | 11.5      | 4.7 | 6.4 |       | 9世紀         | 底部外面に「三」                       | 第87図 364  |
| 12  | 須恵器 | 杯A  | SP2406            |                                | 12.7      | 4.1 | 7.2 |       | 9世紀         | 底部外面に「川」                       | 第82図 223  |
| 13  | 須恵器 | 杯A  |                   | X56Y83II層・<br>X57Y89II層・X58Y89 | 11.7      | 3.3 | 7.6 |       | 9世紀         | 底部外面に「三」                       | 第85図 311  |
| 14  | 須恵器 | 杯A  | SP2147            |                                | 12.4      | 3.0 | 8.4 |       | 9世紀         | 底部外面に「川」か                      | 第83図 241  |
| 15  | 須恵器 | 杯A  | SP2679            | X55Y85II層                      |           |     | 7.9 |       | 9世紀         | 底部外面に三本線                       | 第82図 233  |
| 16  | 土師器 | 椀   | SP2406            |                                | 12.8      | 4.6 | 5.8 |       | 9世紀         | 側面外面に「西」か<br>内面にも「西」か<br>内外面赤彩 | 第98図 548  |
| 17  | 土師器 | 椀   |                   | X60Y90II層                      | 12.5      | 4.2 | 4.7 |       | 9世紀         | 側面外面に横位「三」<br>内外面赤彩            | 第101図 619 |
| 18  | 土師器 | 椀   | SP2406            |                                | 11.9      | 3.8 | 4.8 |       | 9世紀         | 側面外面に縦位「川」か<br>内外面赤彩           | 第98図 549  |
| 19  | 土師器 | 椀   |                   | X61Y90II層                      | 11.6      | 4.2 | 4.8 |       | 9世紀         | 側面外面に横位「三」<br>内外面赤彩            | 第101図 611 |
| 20  | 土師器 | 椀   | SP2334            |                                | 12.5      | 4.2 | 4.6 |       | 9世紀         | 側面外面に縦位「川」<br>内外面赤彩            | 第98図 552  |
| 21  | 土師器 | 皿B  | SP2334            | X60Y89II層                      | 13.2      |     |     |       | 9世紀後半～10世紀初 | 側面外面に横位「三」                     | 第102図 630 |
| 22  | 土師器 | 椀   |                   | II層                            |           |     | 5.0 |       | 9世紀         | 底部外面に「三」<br>内外面に赤彩             | 第101図 623 |
| 23  | 土師器 | 椀   |                   | X60Y89II層                      |           |     | 5.2 |       | 9世紀         | 側面外面に縦位「川」                     | 第101図 628 |
| 24  | 丸鞆  | 蛇紋岩 |                   | X40Y82II層                      | 2.4       | 4.4 | 0.6 | 15.85 | 9世紀代        |                                | 第110図 758 |





富山県出土の重要考古資料 15

## とやまの古代集落遺跡出土品

中谷内遺跡・惣領浦之前遺跡

出来田南遺跡・井口本江遺跡

任海宮田ほか遺跡群

(任海宮田遺跡 友杉遺跡 吉倉B遺跡)  
(栗山楮原遺跡 南中田D遺跡)

仏田遺跡

発行日 令和5年3月31日

編集・発行 富山県埋蔵文化財センター  
〒930-0115 富山市茶屋町206番地3号

印刷 小間印刷株式会社